

# **アジア情報検索入門**

## **ーインターネット情報を中心にー**

2005.11.24

国立国会図書館関西館 アジア情報課

## 目次

はじめに .....	6
<b>第 1 章. アジア全般+東南アジア、南アジア、中東・北アフリカ、中央アジア .....</b>	<b>7</b>
<b>1.1. はじめに.....</b>	<b>7</b>
<b>1.2. 書誌情報・所蔵.....</b>	<b>7</b>
1.2.1. アジア全般 .....	7
1.2.2. 東南アジア .....	11
1.2.3. 南アジア.....	12
1.2.4. 中東・北アフリカ、中央アジア.....	14
<b>1.3. 出版情報.....</b>	<b>16</b>
1.3.1. アジア全般.....	17
1.3.2. 東南アジア .....	17
1.3.3. 南アジア.....	17
1.3.3. 中東・北アフリカ、中央アジア.....	18
<b>1.4. 新聞 .....</b>	<b>18</b>
<b>1.5. 雑誌記事、論文検索.....</b>	<b>19</b>
1.5.1. アジア全般 .....	19
1.5.2. 東南アジア .....	19
1.5.3. 南アジア.....	20
1.5.4. 中東・北アフリカ、中央アジア.....	20
<b>1.6. 法律.....</b>	<b>21</b>
1.6.1. アジア全般.....	21
1.6.2. 南アジア .....	22
1.6.3. 中央アジア.....	22
<b>1.7. 人物.....</b>	<b>22</b>
<b>1.8. 企業情報 .....</b>	<b>23</b>
1.8.1. アジア全般.....	23
1.8.2. 東南アジア .....	23
1.8.3. 南アジア .....	23
<b>1.9. 統計 .....</b>	<b>24</b>
1.9.1. アジア全般 .....	24
1.9.2. 東南アジア.....	24
1.9.3. 南アジア.....	25
1.9.4. 中央アジア .....	25
<b>1.10. 地図.....</b>	<b>25</b>
1.10.1. アジア全般 .....	25
1.10.2. 東南アジア .....	25
1.10.3. 南アジア .....	26
<b>1.11. 学術データベース.....</b>	<b>26</b>

1.11.1. アジア全般 .....	26
1.11.2. 東南アジア .....	26
1.11.3. 南アジア .....	27
1.11.4. 中東・北アフリカ、中央アジア .....	27
<b>1.12. 学術ポータルサイト.....</b>	<b>27</b>
1.12.1. アジア全般.....	27
1.12.2. 東南アジア.....	28
1.12.3. 南アジア .....	28
1.12.4. 中東・北アフリカ、中央アジア .....	29
<b>1.13. 図書館関係団体.....</b>	<b>29</b>
1.13.1. アジア全般 .....	29
1.13.2. 東南アジア .....	30
1.13.3. 南アジア.....	30
<b>第2章. 中国・香港・台湾 .....</b>	<b>31</b>
2.1. はじめに.....	31
<b>2.2. 書誌情報・所蔵.....</b>	<b>31</b>
2.2.1. 日本.....	31
2.2.2. 中国.....	31
2.2.3. 香港.....	32
2.2.4. 台湾.....	32
<b>2.3. 出版情報(図書) .....</b>	<b>33</b>
2.3.1. 日本.....	33
2.3.2. 中国.....	34
2.3.3. 香港.....	34
2.3.4. 台湾.....	35
<b>2.4. 出版情報(雑誌) .....</b>	<b>35</b>
2.4.1. 中国.....	35
2.4.2. 台湾.....	35
<b>2.5. 新聞.....</b>	<b>36</b>
2.5.1. リンク集.....	36
2.5.2. 中国.....	36
2.5.3. 香港.....	36
2.5.4. 台湾.....	37
<b>2.6. 雑誌記事・論文検索.....</b>	<b>37</b>
2.6.1. 日本.....	37
2.6.2. 中国.....	37
2.6.3. 香港.....	38
2.6.4. 台湾.....	38
<b>2.7. 法律.....</b>	<b>38</b>
2.7.1. 中国.....	38
2.7.2. 香港.....	38

2.7.3. 台湾.....	39
<b>2.8. 政府関係資料.....</b>	<b>39</b>
2.8.1. 中国.....	39
2.8.2. 香港.....	39
2.8.3. 台湾.....	39
<b>2.9. 人物.....</b>	<b>40</b>
2.9.1. 中国+香港+マカオ+台湾+世界.....	40
2.9.2. 中国.....	40
2.9.3. 台湾.....	40
<b>2.10. 企業情報.....</b>	<b>40</b>
2.10.1. 中国.....	40
2.10.2. 香港.....	41
2.10.3. 台湾.....	41
<b>2.11. 統計.....</b>	<b>41</b>
2.11.1. 中国.....	41
2.11.2. 香港.....	41
2.11.3. 台湾.....	41
<b>2.12. 地図.....</b>	<b>42</b>
2.12.1. 中国.....	42
2.12.2. 香港.....	42
2.12.3. 台湾.....	42
<b>2.13. 電子テキストデータベース.....</b>	<b>42</b>
<b>2.14. オンライン中国語辞典.....</b>	<b>43</b>
<b>2.15. 学術系ポータルサイト.....</b>	<b>43</b>
2.15.1. 日本.....	43
2.15.2. 中国.....	43
2.15.3. 台湾.....	44
<b>2.16. 政府系ポータルサイト.....</b>	<b>44</b>
2.16.1. 中国.....	44
2.16.2. 香港.....	44
2.16.3. 台湾.....	44
<b>2.17. ポータルサイト.....</b>	<b>45</b>
2.17.1. 日本.....	45
2.17.2. 中国.....	45
2.17.3. 香港.....	45
2.17.4. 台湾.....	45
<b>2.18. サーチエンジン.....</b>	<b>45</b>
2.18.1. Google.....	45
2.18.2. 中国.....	46
2.18.3. 香港.....	46
2.18.4. 台湾.....	46

2.19. アジア情報課作成リンク集 .....	46
2.20. 参考ツール .....	47
<b>第3章. コリア(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国) .....</b>	<b>48</b>
3.1. はじめに .....	48
3.2. 書誌・所蔵情報 .....	48
3.2.1. 韓国 .....	48
3.2.2. 日本 .....	49
3.2.3. アメリカ .....	49
3.3. 出版情報 .....	49
3.4. 新聞 .....	49
3.4.1. 韓国 .....	49
3.4.2. 北朝鮮 .....	50
3.4.3. 日本 .....	50
3.5. 雑誌記事・論文検索 .....	50
3.6. 法律 .....	51
3.7. 政府関係資料 .....	51
3.8. 人物 .....	51
3.9. 企業情報 .....	52
3.10. 統計 .....	52
3.11. 地図 .....	52
3.12. 学術データベース .....	52
3.12.1. 全般 .....	52
3.12.2. 歴史 .....	53
3.12.3. 芸術 .....	53
3.12.4. 語学 .....	53
3.13. オンライン辞書 .....	54
3.14. ポータルサイト .....	54
3.14.1. 韓国 .....	54
3.14.2. 北朝鮮 .....	54
3.15. 図書館関係団体 .....	54
3.16. おわりに .....	54

## はじめに

今回初めて「アジア情報検索入門」という科目を設けた。一昔前まで、日本国内でアジア地域に関する情報を得るには、紙媒体の文献に頼る以外にはほとんど方法が無く、また、アジアに関する文献自体も数多く国内に流通しているわけではなかった。したがって、当時は有用文献及びその所在に関する知識を身につけることが情報収集の基礎だった。インターネット技術が発展した現在、それは一変し、自宅にいながらにして、パソコンから有用な情報を得ることができるようになった。以前とは逆に流通している情報量が多すぎるため、どこに有用なサイトがあるのかを知ることが情報収集の鍵となっている。そこで、このような科目を設けた。

アジア情報課では、当館ホームページのなかに、独自のページを作成し、アジア情報室の活動内容を広報するとともに、レファレンスに有用と思われる情報を発信している。中でもアジアに関するインターネットサイトのリンク集「インターネット情報資源」は 2002 年 10 月のアジア情報室開設以来蓄積を続け、現在ではサイト数が 6,000 を超えている。昨年 1 月には地域別・国別の見出しページを作る、ページの形式上の統一を図るなど使いやすさの向上についても努めているところである。

ただ、リンク集という性格のため、どのサイトが実務をする上で使い易いか、便利であるかといった付加的な情報については必要最低限の情報しか提供できていない。今回の講義では、特に使いやすく便利なサイトを厳選し、リンク集では読み取れないそのような付加的情報を中心に解説して、実務の役にたててもらおうと考えている。

テキストの構成は、基本的にはテーマ別である。ただし、中国、コリアについては、(1)日本での研究の歴史も長く、データベースなどもたくさんある、(2)主に日本とその地域のサイトで、調査が可能ななどの理由で、特に別扱いとさせて頂いた。その他のアジア地域については、それぞれの地域についてのサイトのみでなく、アジア全体に関するサイトも合わせて利用する必要があるので、テーマ別にまとめて紹介している。

今回ご紹介したサイト、当館のリンク集等を見て、研修生の方からも何か他にも有用な情報があるようであれば是非いただきたいと考えている。また、「もっと別の切り口をすればさらに使い易くなる」、「国立国会図書館のページはここが弱い」などのご意見があるようであれば、極力反映、改善していきたいとも考えているので是非ご協力いただきたいと考えている。

## 第1章 アジア全般+東南アジア、南アジア、中東・北アフリカ、中央アジア

### 1.1. はじめに

ここでは、アジア地域のうち、中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮以外の国を全体的に扱う。日本や欧米の、アジア地域研究を行っている大学、研究機関では、有用なデータベースを多数作成している。また、これらの機関では、研究対象となる地域、言語の資料を、多く収集、所蔵しており、オンライン目録も整備している。

本テキストでは、そのような機関で作成された無料データベースを中心に、対象地域別に紹介する。それぞれの国に関する情報は、各国で作られたサイトからも得ることができる。各国の詳しい情報を調べる際には、アジア情報室ホームページ、インターネット情報資源 ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) の各国のページを参照する。

### 1.2. 書誌情報・所蔵

総合目録のほか、アジア関係資料を豊富に所蔵する機関のうち、オンライン目録の検索がしやすく、書誌情報が比較的詳細に掲載されているサイトを選択した。

対象地域別に紹介しているが、各地域の資料を幅広く所蔵している機関は**アジア全般**の項に挙げる。調査の際には各地域で紹介しているサイトのみでなく、**アジア全般**に掲載したサイトも含めて検索する。

1 カ国のみで国立図書館、総合目録は原則として掲載していない。各国の書誌情報・所蔵の検索は、アジア情報室ホームページ、インターネット情報資源 ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) の他機関 OPAC と、各国のページの、[図書館/Library] を参照。

#### 1.2.1. アジア全般

##### 1.2.1.1. 日本

○ NACSIS-Webcat ([http://webcat.nii.ac.jp/webcat\\_eng.html](http://webcat.nii.ac.jp/webcat_eng.html))

日本の大学、短大、高専等 1,000 以上の機関による総合目録。英語版は多言語対応しており、中国語、朝鮮語の他、アラビア文字の書誌も入力されている。全機関が蔵書全てを登録しているわけではないので注意が必要。

○ 国立国会図書館 アジア言語 OPAC (<http://asiaopac.ndl.go.jp/>)

国立国会図書館が 1986 年以降に受け入れた、アジア言語資料のオンライン目録。2005 年 11 月現在、中国語、韓国語の図書・雑誌、ベトナム語、モンゴル語、インドネシア・マレーシア語の図書が検索可能。中国語、韓国語以外のアジア言語の雑誌は、翻字形で、NDL-OPAC(<http://opac.ndl.go.jp/>)で検索する。

○ JETRO 図書館 横断検索

([http://opac.jetro.go.jp/operate/japanese/su\\_od\\_top.html](http://opac.jetro.go.jp/operate/japanese/su_od_top.html))

ジェトロビジネスライブラリー(東京・大阪)と、アジア経済研究所の所蔵資料を横断検索できる。経済関係や統計資料が豊富。

○ 東洋文庫 図書のオンライン検索

(<http://www.toyo-bunko.or.jp/library/SearchMenu.html>)

アジア全域の歴史と文化に関する東洋学の専門図書館。欧文語、日本語のほか、中国語、漢籍、韓国・朝鮮語、モンゴル語、アラビア語、ペルシャ語、トルコ語、チベット語、ビルマ語、インドネシア・マレーシア語、のオンライン検索が可能。

○ 東京外国語大学附属図書館 (<http://www-lib.tufts.ac.jp/>)

20 カ国以上の言語で書かれた資料を所蔵している。Dilins:史資料ハブ地域文化研究拠点:電子図書館プロジェクト (<http://www.dilins.c-dats.tufts.ac.jp/>)で収集された史料は、多言語検索のほか、一部史料については全文を画像で見られる。

○ 大阪外国語大学附属図書館 蔵書検索

(<http://wwwlib.osaka-gaidai.ac.jp/files/database/database.html>)

オンライン目録検索では、中国語と韓国語、多言語検索システムではヒンディ語、ベンガル語、ウルドゥ語、ペルシャ語資料の検索が可能。書誌データには表題紙や目次の画像ファイル付。

○ 東京大学東洋文化研究所 (<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/index.html>)

アジア全域の政治・経済・歴史・文学・芸術・宗教等について、日本語や欧米諸国語はもちろん、中国語・朝鮮語・アラビア語・ペルシャ語・トルコ語・サンスクリット語・インドネシア語などの資料も所蔵しており、それらは、東京大学オンライン蔵書データベース多言語対応版で検索できる。また、漢籍、中国雑誌、朝鮮族譜、タイ語資料のデータベースがある。

※アジア情報機関ダイレクトリー

(<http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/directory/index.html>)

日本国内のアジア関係機関名簿。資料群別検索ツールから、各機関のオンライン目録にリンクしている。

1.2.1.2. 欧米諸国

1.2.1.2.1. 総合目録

○ The Center for Research Libraries (<http://www.crl.edu/content.asp?l1=5>)

北米にある大学や研究機関の図書館の総合データベース。図書に加えて、新聞、雑誌、文書類、電子化された資料も検索可能。

○ Melvyl ([http://melvyl.cdlib.org/F/?func=file&file\\_name=find-b](http://melvyl.cdlib.org/F/?func=file&file_name=find-b))

カリフォルニア地区の図書館総合目録。雑誌も検索できる。カリフォルニア大学バークレー校など、アジア関係資料を多く所蔵する図書館も含まれている。



- **COPAC** (<http://copac.ac.uk/>)  
イギリス有力大学図書館 25 館＋英国議会図書館＋スコットランド国立図書館＋ウェールズ国立図書館の総合目録。
- **GBV Union Catalog** (<http://www.gbv.de/>)  
ドイツ 760 機関、2,400 万件のデータを一括検索できる。アジア言語資料の書誌情報の更新も早い。
- **Karlsruhe Virtual Catalog (KVK)**  
(<http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/hylib/en/kvk.html>)  
ドイツ、オーストリア、スイスに加えて、オーストラリア、カナダ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、東欧・北欧諸国、アメリカの国立図書館の OPAC と総合目録を一括検索できる。

#### 1.2.1.2.2. 国立図書館蔵書目録

- **Library of Congress Online Catalogue** (<http://catalog.loc.gov/>)  
アメリカ議会図書館のオンライン目録。1 億 3,000 万件以上の資料を所蔵する。**The Asian Reading Room** (<http://www.loc.gov/rr/asian/>)、**African and Middle Eastern Reading Room** (<http://www.loc.gov/rr/amed/>)を持つ。ニューデリー、カイロ、ジャカルタ、イスラマバード等に **Over Seas Offices** を設置し、アジアで刊行される資料も幅広く収集している。1898 年以降に整理された資料約 940 万件が検索可能。
- **The British Library Integrated Catalogue**  
([http://catalogue.bl.uk/F/XHUPRNRBKP73XU91B9CL8QP4XAXJUGGVYLCIDQ137HNR9ALX96-02598?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=BLAC](http://catalogue.bl.uk/F/XHUPRNRBKP73XU91B9CL8QP4XAXJUGGVYLCIDQ137HNR9ALX96-02598?func=file&file_name=find-b&local_base=BLAC))  
**Asia, Pacific & Africa Collections** (<http://www.bl.uk/collections/asiapacificafrika.html>)を持ち、アジアの様々な言語の資料を古代語も含め幅広く所蔵している。**Integrated Catalogue** は英国図書館(British Library)と文献供給センター(Document Supply Center)の統合検索。
- **National Library of Australia**  
(<http://catalogue.nla.gov.au/cgi-bin/Pwebrecon.cgi?DB=local&PAGE=First>)  
オーストラリア国立図書館のオンライン目録。南、東南アジア関係資料が豊富。**Asian Collections** (<http://www.nla.gov.au/asian/asiacoll.html>) でアジア関係コレクションの概要を知ることができる。
- **Bibliothèque nationale de France - Catalogues et bibliothèque numérique**  
(<http://www.bnf.fr/pages/catalogues.htm>)  
フランス国立図書館の蔵書目録。蔵書検索は **Catalogue BN-Opale plus** で、1897 年以降の資料約 770 万件を検索可能。**Mandragore** は、マニユスクリプトのデータベースで、中東関係資料が多く含まれる。

### 1.2.1.2.3. 大学・研究機関

- **Conell University Library Gateway** (<http://www.library.cornell.edu/>)  
Echols Collection、South Asia Collection、Middle East & Islamic Studies Collection を持つ、コーネル大学図書館の蔵書検索のページ。
- **HOLIS FULL CATALOG(Harvard University)**  
([http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=pub](http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file_name=find-b&local_base=pub))  
東アジア、内陸アジア関係資料を持つ燕京(イエンチェン)図書館の他、Sanskrit & Indian Studies Library、Sanskrit Library、Near East Library、Near Eastern Languages and Civilizations Library、Near Eastern Languages and Literatures Library が設置されており、アメリカでも有数のアジア関係コレクションを所蔵している。
- **Hawaii Voyager** (<http://uhmanoa.lib.hawaii.edu/webvoy.htm>)  
ハワイ大学の蔵書検索。ハワイ大学マノア校のハミルトン図書館には、約 50 万冊のアジアコレクションがある。
- **University of Michigan, University Library** (<http://www.lib.umich.edu/>)  
Asia Library、Near East Division、South Asia Division、Southeast Asia Division などが設置されており、広くアジア関係の資料を収集している。蔵書検索は **Mirlyn**(<http://mirlyn.lib.umich.edu/>)から。
- **University of Washington Libraries**(<http://www.lib.washington.edu/>)  
East Asia Studies、Southeast Asia Center、South Asia Center などの研究機関があり、図書館も、East Asia Library、Southeast Asia Section、South Asia Section が設けられている。
- **University of Texas at Austin** (<http://www.lib.utexas.edu/>)  
Center for East Asian Studies、South Asia Institute、Center for Middle Eastern Studies などが設置されており、図書、雑誌を多数所蔵している。
- **Yale University** (<http://www.library.yale.edu/>)  
学内に 50 以上の図書館を持つ。East Asia Library、Southeast Asia Collection、Near East Collection など、東、東南、中東関係の資料を豊富に所蔵している。
- **Oxford University, Bodleian Library, Department of Oriental Collections**  
(<http://www.bodley.ox.ac.uk/dept/oriental/libs.htm>)  
ヘブライ、イスラム、南アジア、極東、東南アジア、中央アジアの資料を幅広く収集している。Indian Institute Library、Oriental Institute Library、Institute for Chinese Studies Library などを持ち、所蔵数は約 500,000 冊。検索は、オックスフォード大学図書館の総合目録 **OLIS web OPAC**(<http://library.ox.ac.uk/>)から。
- **Cambridge University Library, Library Catalogues**  
(<http://www.lib.cam.ac.uk/catalogues.htm>)  
中国語、韓国語、中東、チベット、南アジアの言語の **Oriental Collection** を持つ。**Newton** はケンブリッジ大学の図書館総合目録、**Cambridge Union List of Serials** は雑誌の総合目録、**Janus** はアーカイブの検索になっている。

- **The School of Oriental & African Studies (SOAS):University of London**  
(<http://www.soas.ac.uk/library/index.cfm?navid=177>)  
東、内陸、東南、南アジアと中東の言語及び文化を研究する学部があり、**The London Middle East Institute (LMEI)**や **Centre of South Asia Studie** が設置されている。書誌データは **COPAC** (<http://copac.ac.uk/>) にも搭載されている。

- **The University of British Columbia Library**  
(<http://webcat.library.ubc.ca/cgi-bin/Pwebrecon.cgi?DB=local&PAGE=First>)  
カナダでは最多のアジア言語資料を所蔵するブリティッシュ・コロンビア大学のオンライン目録。

## 1.2.2. 東南アジア

### 1.2.2.1. 日本

- **京都大学東南アジア研究所図書室**  
([http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/library/index\\_ja.htm](http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/library/index_ja.htm))  
東南アジア各国の資料を所蔵する。**タイ語文献データベース** (<http://library.cseas.kyoto-u.ac.jp/cseas/>) では、約8,000件(2003年5月現在)のタイ語資料を原綴で検索可能。

### 1.2.2.2. 欧米諸国

- **Cornell University Library, Echols Collections**  
(<http://www.library.cornell.edu/Asia/ECHOLS/index.htm>)  
米国最大規模の東南アジア資料を所蔵する。蔵書は図書館全体の **Catalog** (<http://catalog.library.cornell.edu/>) から検索可能。**Bibliographies/Guides** で分野ごとの資料紹介や書誌が参照できる。年毎の収集資料一覧を **Accessions Lists** で公開。世界各国の東南アジア関係機関や図書館へのリンク集も作成している。
- **University of California - Berkeley, South/Southeast Asia Library**  
(<http://www.lib.berkeley.edu/SSEAL/>)  
**Southeast Asia Resources** 内の **Collections & New Acquisitions** で新聞・雑誌一覧、月毎の収集資料一覧、特殊コレクションの概要などがわかる。その他、各種書誌、電子情報などを提供。蔵書検索は図書館全体の **Library Catalogs** (<http://www.lib.berkeley.edu/Catalogs/index.html>) で行なう。
- **Yale University Library, Southeast Asia Collection**  
(<http://www.library.yale.edu/southeastasia/southeast.htm>)  
東南アジアコレクション概要、参考図書、データベース、インターネット資源の紹介。蔵書は図書館全体の目録検索 **Orbis** (<http://orbis.library.yale.edu/>) で検索。
- **National Library of Australia** (<http://www.nla.gov.au/>)  
東南アジア関係資料を豊富に所蔵する。なかでもインドネシアの出版物は、ジャカルタに

現地事務所 (<http://www.nla.gov.au/asian/jakarta.html>) を置いて大規模な収集活動を行なっている。収集した資料は **Indonesian Acquisitions List** (<http://www.nla.gov.au/asian/pub/ial/index.html>) として公開。蔵書検索は **Catalogue** (<http://catalogue.nla.gov.au/>) から。

- **Australian National University, Library** (<http://anulib.anu.edu.au/>)  
アジア学部 (<http://www.anu.edu.au/asianstudies/>)、太平洋アジア研究学院 (<http://rspas.anu.edu.au/>) を持ち、アジア関係資料を幅広く所蔵する。**Subject Areas > Asia Pacific (Menzies Precinct)** と入って行くと、「**Chinese Digital Archive 1966-1976**」などの電子化資料や「**Southeast Asian Serials Index**」「**Balinese Manuscript Collection Index**」などの索引類が利用できる。新着資料一覧やリンク集もあり。
- **Koninklijk Instituut voor Taal-, Land- en Volkenkunde**  
(<http://ias.leidenuniv.nl/institutes/kitlv/>)  
オランダ王立言語地理民族学研究所 (KITLV) のホームページ。インドネシア関係資料が豊富。蔵書は **Catalogue** で資料形態(図書・雑誌、手稿、地図、視聴覚資料)に分けて検索可能。**Images** では 125,000 件の植民地期インドネシアの写真、3,500 件の絵画資料の書誌データが検索可能で、画像データもあわせて閲覧することができる。

### 1.2.2.3. シンガポール

- **SEALion (Southeast Asia Library Online)** (<http://webpac.iseas.edu.sg/>)  
シンガポール東南アジア研究所図書館 (ISEAS) の目録データベース。

## 1.2.3. 南アジア

### 1.2.3.1. 日本

- **南アジア文献検索データベース** (<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~sadb/>)  
東京大学東洋文化研究所が所蔵する、南アジア地域に関する欧文文献のデータベース。ただし、2005年11月現在、入力作業途中のため、所蔵していても未収録の資料もある。

### 1.2.3.2. 欧米諸国

- **University of Chicago Library, Southern Asia Collection**  
(<http://www.lib.uchicago.edu/e/su/southasia/soa.html>)  
シカゴ大学が持つ、南アジア関係のコレクションについてまとめたサイト。蔵書検索は、シカゴ大学図書館の **Main Catalog** (<http://libcat.uchicago.edu/ipac20/ipac.jsp?profile=ucpublic>) から。**South Asia at Chicago** では、シカゴ大学における南アジア関係の研究プログラムや、**South Asia Language Resource Center** についてのサイトを見ることができる。

- **South & Southeast Asian Studies (Columbia University Libraries)**  
(<http://www.columbia.edu/cu/lweb/indiv/southasia/>)  
南アジア関係の大きなコレクションを持ち、学術ポータル SARAI を運営している。蔵書検索は **Calalogs>CLIO (Columbia's Online Catalog)** から。その他のコレクション、周辺の機関の蔵書の検索へのリンクもある。
  
- **University of California - Berkeley, South/Southeast Asia Library**  
(<http://www.lib.berkeley.edu/SSEAL/>)  
**South Asia Resources Home Page** 内の **Collections & New Acquisitions** より、コレクション紹介、国別所蔵新聞一覧、月毎の収集資料一覧、特殊コレクションの概要などがわかる。その他、各種書誌、電子情報などを提供。蔵書検索は図書館全体の **Library Catalogs** (<http://www.lib.berkeley.edu/Catalogs/index.html>) で行なう。
  
- **The British Library** (<http://www.bl.uk/>)  
**India Office Records** (<http://www.bl.uk/collections/orientaloffice.html>)  
1947 年以前のインド政府関係文書のアーカイブ。東インド会社他、イギリスのインド統治関係文書を包括的に集めている。検索は **India & South Asia Catalogues** (<http://www.bl.uk/catalogues/indiasouth.html>) から。 **India Office Records Catalogues** は、イギリスのナショナルアーカイブネットワーク (A2A) にリンクしていて、 **India Office Records** の大部分を含む、7,000,000 件のデータを検索できる。  
  
**North Indian Collections** (<http://www.bl.uk/collections/northindia.html>)  
インド北部と、バングラデシュ、ネパールで発行された、写本、活字本のコレクション。アッサム語、ベンガル語、グジャラーティ語、ヒンディ語、マラーティ語、ネパール語、オリヤー語、パンジャービー語、などの言語で書かれた資料。 書誌データは、 **Integrated Catalogue** ([http://catalogue.bl.uk/F/KQRHNB4HHT88GDUIPBR7SGYC31J3VCM3U62FAHL57RKIEI9QFU-02260?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=BLAC](http://catalogue.bl.uk/F/KQRHNB4HHT88GDUIPBR7SGYC31J3VCM3U62FAHL57RKIEI9QFU-02260?func=file&file_name=find-b&local_base=BLAC)) で検索できる。
  
- **Centre for South Asian Studies(SOAS)**  
(<http://www.soas.ac.uk/centres/centreinfo.cfm?navid=8>)  
政治、経済から芸術まで、南アジアに関する幅広い研究に加えて、ベンガル語、グジャラーティ語、タミル語、ウルドゥ語、パーリ語、サンスクリット語など、多くの南アジア言語の専攻コースが用意されている。蔵書検索は **Library>SOAS Library Catalogue** から。
  
- **South Asia Resources Database**  
(<http://recall.curtin.edu.au/Data/saru/sard.HTM - inform>)  
オーストラリアカーティン大学による、南アジア関係図書、雑誌、アーカイブの総合データベース。オーストラリア国内に所蔵されている資料約 120,000 件と、オーストラリアには所蔵されていない資料約 150,000 件が検索可能。

### 1.2.3.3. 南アジア

- **INFLIBNET: Information and Library Network Centre**  
(<http://www.inflibnet.ac.in/>)  
インドの大学図書館等による総合目録。1999-2000 年の年次報告によると、48 館の所蔵

図書約 65 万タイトル、70 館の所蔵雑誌 8,200 タイトル、130 館の継続雑誌タイトル 9,000 タイトル、及び 194 機関の学位論文約 14 万タイトルが検索可能。

## 1.2.4. 中東・北アフリカ、中央アジア

### 1.2.4.1. 欧米諸国

- **UCLA Library Collections and Internet Resources in Middle Eastern, Armenian and Central Asian Studies**

(<http://www.library.ucla.edu/libraries/url/colls/mideast/index.html>)

カリフォルニア大学図書館では、中東、アルメニア、中央アジア関係資料を所蔵している。特にアルメニア資料は米国最大規模。ほとんどの資料は図書館全体の **UCLA Library Catalog** (<http://catalog.library.ucla.edu/cgi-bin/Pwebrecon.cgi?DB=local&PAGE=First>) で検索するが、マニュスクリプトコレクションは **Manuscript Holdings** (<http://www.library.ucla.edu/libraries/url/colls/mideast/mancolls.htm>) を参照する。UCLA が所蔵するイェメン政府刊行物リストや、表紙の写真画像がつけられた中東移民関係書誌一覧も掲載されている。

- **University of Chicago Library Middle East Department**

(<http://www.lib.uchicago.edu/e/su/mideast/>)

マムルーク研究に力をいれており、**Mamluk Bibliography Online** (<http://www.lib.uchicago.edu/e/su/mideast/mamluk/>) がある。**Middle East Photograph Archive** (<http://www.lib.uchicago.edu/e/su/mideast/Contents.html>)、リンク集、**Middle East Documentation Center** の紹介なども掲載。図書館の所蔵資料は **Library Catalogs** (<http://libcat.uchicago.edu/ipac20/ipac.jsp?profile=ucpublic>) で検索。

- **Columbia University Libraries Middle East & Jewish Studies**

(<http://www.columbia.edu/cu/lweb/indiv/mideast/cuvm/index.html>)

中東関係資料を多く所蔵する図書館の情報、テーマごとの参考書誌、書店などの情報を得ることができる。コロンビア大学図書館の所蔵資料は **CLIO Catalogue** (<http://clio.library.columbia.edu/cgi-bin/Pwebrecon.cgi?DB=local&PAGE=First>) で検索。

- **Durham University Library Middle East and Islamic Studies Collections**

(<http://www.dur.ac.uk/library/middleeast/index.htm>)

中東、北アフリカ、トルコ、イラン、アフガニスタン関係資料を所蔵している。図書館の一部門である、**Middle East Documentation Unit (MEDU)** には **Sudan Archives** など、特殊コレクションがある。各地域の資料の説明は **Interactive Map** ([http://www.dur.ac.uk/library/middleeast/me\\_map.htm](http://www.dur.ac.uk/library/middleeast/me_map.htm)) を参照のこと。図書館の所蔵資料は **Catalogue** (<http://library.dur.ac.uk/>) で検索。

- **HOLIS FULL CATALOG(Harvard University)**

([http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=pub](http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file_name=find-b&local_base=pub))

ハーバード大学には、Center for Middle Eastern Studies、Davis Center for Russian and Eurasian Studies、燕京(イェンチェン)研究所などがあり、中東、中央アジア関連資料が充実している。そのほか、イスラーム芸術の資料が **Harvard Univer**

sity Art Museums (<http://www.artmuseums.harvard.edu/home/index.html>) に収められており、**Online Presentations of Research** (<http://www.artmuseums.harvard.edu/research/onlinepresentations.html>) で画像つきのコレクション紹介を見ることができる。

- **Research Institute for Inner Asian Studies (RIFIAS)** (<http://www.indiana.edu/~rifias/>)  
約 10,000 点の、図書、雑誌、マニュスクリプト、モノグラフを所蔵。所蔵資料は **Library Catalog** (<http://www.lettrs.indiana.edu/web/r/rifiasbib/>) で検索。
- **Stanford University Hoover Institution library and Archives** (<http://www.hoover.org/hila/middleeast.htm>)  
西アジア、北アフリカ、トルコ、イスラエル、イラン、アフガニスタン関係資料を所蔵。蔵書は図書、雑誌、新聞、パンフレット、政府関係文書と幅広く、20 世紀の歴史、政治、経済、軍事、社会などをテーマとしている。図書館の所蔵資料は **Socrates: Stanford University online catalog** (<http://jenson.stanford.edu/uhtbin/cgiisirsi/NA3kisBtHy/GR EEN/107550016/60/668/X>) で検索。
- **Yale University Near East Collection** (<http://www.library.yale.edu/neareast/>)  
アラブ文学、イスラーム文化研究に力を入れている。マニュスクリプトやアーカイブも所蔵。サイトには所蔵する CD-ROM、フィルム、逐次刊行物、インティファダのポスター、写真のコレクションなども紹介されている。図書館の所蔵資料は **Orbis** (<http://orbis.library.yale.edu/cgi-bin/Pwebrecon.cgi?DB=local&PAGE=First>) で検索。

#### 1.2.4.2. エジプト

- **Egyptian Libraries Network** (<http://www.egyptlib.net.eg/search/elnavsearch.asp>)  
Egyptian Libraries Network 作成の総合目録。インターフェースは英語。英語かアラビア語で検索する。

#### 1.2.4.3. イスラエル

イスラエルの国立図書館、大学図書館の OPAC は各機関のホームページで公開されており、英語のインターフェースを利用することができる。主な図書館は、アジア情報室ホームページの[図書館]の項目を参照のこと。総合目録としては、以下のサイトがある。

- **Jewish National and University Library** (<http://jnul.huji.ac.il/eng/>)  
ユダヤ国立・大学図書館のホームページ。
- **Israel Union Catalog: ULI** ([http://aleph1.libnet.ac.il/F/?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=uli02&con\\_lng=eng](http://aleph1.libnet.ac.il/F/?func=file&file_name=find-b&local_base=uli02&con_lng=eng))  
**MALMAD : Israel Center for Digital Information Service** (図書館コンソーシアム) 内のコンテンツ。イスラエルの大学図書館や研究機関の蔵書、600 万件が検索可能。

○ Israel Union List of Serials(ULS-Israel)

([http://aleph2.libnet.ac.il/F/?func=file&file\\_name=start-main&local\\_base=uls01](http://aleph2.libnet.ac.il/F/?func=file&file_name=start-main&local_base=uls01))

MALMAD 内のコンテンツ。イスラエルの図書館、170 館の逐次刊行物を 10 万タイトル掲載。

#### 1.2.4.4. トルコ

トルコには以下のような総合目録があるが、すべての大学図書館、研究機関が網羅されているわけではない。アンカラ大学、エーゲ大学など、独自の目録をもつ機関もある。検索可能な年代にも注意。

○ BLISS-CAT Toplu Katalog Tarama

(<http://blisscat.bilkent.edu.tr/database.php>)

ビルケント大学作成、トルコ国内の大学図書館や研究機関の総合目録。掲載機関は一覧することができる。

○ YORDAM 2001 Toplu Katalogu

(<http://yordam2001.bahcesehir.edu.tr/2001menu.htm>)

トルコ国内の大学図書館や研究機関の総合目録。採用機関は YORDAM 2001

Referanslar ve Katalog Tarama Linkleri(<http://yordam2001.bahcesehir.edu.tr/2001link.htm>)を参照。

○ ULAKBİM Süreli Yayınlar Toplu Katalogu

(<http://www.ulakbim.gov.tr/cabim/katalog/>)

Turkish Academic Network and Information Center、カーズィー大学、ハジェテペ大学、中東工科大学、ビルケント大学、バシユケント大学所蔵の逐次刊行物総合目録。

○ Türkiye Yazmaları Toplu Katalogu(T.C. Kültür ve Turizm Bakanlığı, Milli Kütüphane Bakanlığı) (<http://194.27.216.201/>)

写本総合目録。出典は目録内の **Kaynakça** をクリックすれば確認することができる。**Yazma Kitaplar** には、トルコ語ではあるが、写本を所蔵する図書館の紹介や、写本の書体、装丁の解説などがあり、興味深い。

※各国の書誌情報についてはインターネット情報資源([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) の他機関 OPAC と、各国のページの、[図書館/Library] を参照。

### 1.3. 出版情報

販売目録が検索できる、あるいは取り扱い資料が一覧できるサイトを、オンライン書店も含めて、対象地域別に紹介する。あくまでサイトの利便性を重視して選択おり、アジア関係の出版社紹介ではない点に注意。



### 1.3.1. アジア全般

- **Brill Academic Publishers** (<http://www.brill.nl/>)  
‘Handbuch der Orientalistik’シリーズなど、アジア関係学術書の多い出版社。オンラインで検索、購入可能。
- **Het Oosters Antiquarium (Smitskamp Oriental Antiquarium)**  
(<http://www.oriental.demon.nl/>)  
東アジア、中東関係の資料中心のオランダの書店。アジアの古代言語の史料や、稀覯本も扱う。データベースで検索可能。

### 1.3.2. 東南アジア

- **Select Books** (<http://www.selectbooks.com.sg/>)  
シンガポールにある東南アジア専門書店。要約付きの選定書リスト(<http://www.selectbooks.com.sg/GetSelList.htm>)を定期的に作成している。国名、分野で一覧可能。
- **Ikatan Penerbit Indonesia** (<http://www.ikapi.or.id/>)  
インドネシア出版協会 (IKAPI)。図書の検索、書名順・出版社順のタイトル一覧が可能。出版社の一覧と概要も載せている。その他、ニュース・小論など。インドネシア語のみ。
- **Dewan Bahasa dan Pustaka** (<http://www.dbp.gov.my/>)  
マレーシアの国語研究機関かつ出版局である国立言語図書研究所。図書目録、雑誌目録、各種オンライン辞書など。マレーシア語のみ。
- **Xunhasaba** (<http://www.xunhasaba.com.vn/>)  
ベトナムの図書雑誌輸出入会社。スニャサバ。図書の検索、取扱い雑誌一覧など。
- **FAHASA** (<http://www.fahasag.com.vn/>)  
ホーチミンを中心に店舗を展開している大型書店。
- **Chulabook.com** (<http://www.chulabook.com/>)  
チュラロンコーン大学書籍部。学術書から一般書までタイ国内の出版物を幅広く取り扱う。図書館向け、タイ関連図書のコーナーあり。一部が英語の他はタイ語。

### 1.3.3. 南アジア

- **Gobook Shopping** (<http://www.gobookshopping.com/>)  
*Indian Books in Print* (2000-)を発行している UBSPD のサイト。人文、法律、経済、科学技術などの学術書からテキストブックまで幅広く扱う、インド最大のオンライン書店。約 60,000 点を検索可能。

- **South Asia Book Vendors**(<http://www.ucl.ac.uk/~ucgadkw/indnet-publishers.html>)  
コロンビア大学図書館作成の、書店リンク集。一般書から、学術書、稀覯本まで、様々な種類の書店を紹介しており、頻繁にメンテナンスされている。

### 1.3.3. 中東・北アフリカ、中央アジア

- **NeelwaFurat**(<http://www.neelwafurat.com/>)  
アラビア語の書籍を扱う。
- **IranBookShop.com**(<http://www.iranbookshop.com/>)  
ペルシャ語の書籍を扱う。ホームページの言語は英語。
- **Pandora**(<http://www.pandora.com.tr/>)  
トルコ語の書籍を扱う。
- **Ketabook.com**(<http://www.ketabook.com/>)  
マダガスカル関連の書籍を扱う。書籍は英語で紹介されており、図書館員向けの **Newsletter** もある。逐次刊行物も何点か掲載されている。
- **East View Information Services**(<http://www.eastview.com/>)  
アメリカの出版社のサイト。ロシア、CIS 諸国の書籍を扱う。図書は **Caucasus/Central Asia** というカテゴリーから探すことができ、英文の概要が付された書誌データもある。雑誌も検索可能。

※各国の出版情報についてはインターネット情報資源([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国のページの、[書店・出版社/Bookstore and Publisher ]を参照。

## 1.4. 新聞

各新聞社のサイトでは、最近数年分の記事検索が可能で、本文まで見られる場合が多い。ただし、インターネットだけで発信される記事や、紙媒体の新聞は発行していないニュースサイトも多いので、レファレンスの際には区別して利用する必要がある。

ここでは、全体的なリンク集のみを挙げる。

- **World News Papers.com**(<http://www.world-newspapers.com/>)  
国別の新聞、ニュース雑誌やオンラインマガジン、ニュースサイトへのリンク集。アジアの新聞が豊富に掲載されている。英語の新聞のみだが、各国の地方紙のサイトも収録。

※各国の新聞についてはインターネット情報資源([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国のページの、[新聞/Newspapers]を参照。紙媒体の新聞を発行している新聞社のみを選んでリンクしている。

## 1.5. 雑誌記事、論文検索

論文検索のサイトを、対象地域別に紹介する。下記以外にも、アジア関係研究を行っている大学のホームページで、学内の学位論文の情報を得られる場合もある。

### 1.5.1. アジア全般

#### 1.5.1.1. 日本

○ Genii (<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>)

論文、書籍・雑誌、科学研究費補助金研究成果報告書、学術研究データベースの統合検索。学術研究データベースリポジトリには、日本における中東・イスラーム研究文献目録、中央アジア研究文献目録、東南アジア関係文献目録データベースも収録されていて、一括で検索できる。また、論文情報ナビゲータ Cinii では、国立国会図書館雑誌記事索引も含めて検索できるが、複写の申し込みは、NDL-OPAC から行う。

○ NDL-OPAC (<http://opac.ndl.go.jp/>)

雑誌記事の検索・申し込みから、国立国会図書館が作成した雑誌記事索引を利用できる。学術雑誌を中心に、1948 年以降国内で刊行された雑誌約 10,000 誌の記事の検索が可能。ただし、1948 年-1974 年は人文・社会系のみ。

○ www-OPAC(japanese) (<http://opac.ide.go.jp/>)

アジア経済研究所図書館が所蔵している雑誌の、発展途上国に関連する論文が検索できる。検索ファイル種別で雑誌論文検索を選んで検索する。1986 年以降の和洋雑誌論文記事索引約 20 万件が入力されている。

#### 1.5.1.2. 欧米諸国

○ South and Southeast Asian Art and Archaeology Index

(<http://www.ias.nl/host/abia/>)

南アジア・東南アジアの歴史、考古学、芸術関連の文献抄録データベース。通称 ABIA。International Institute for Asian Studies (IIAS) が作成。2002 年以降は The Indira Gandhi National Centre for the Arts (IGNCA)も協力している。書籍、雑誌論文、博士論文、学術灰色文献を収録対象とする。各種キーワードによる組み合わせ検索が可能。1999 年と 2002 年に冊子体が刊行されている。

### 1.5.2. 東南アジア

○ 東南アジア関係文献目録データベース (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssah/jabseas/>)

東南アジア史学会作成の日本語文献索引。1975 年以降に国内で発行された書籍・学術雑誌に掲載された論文のうち、東南アジアに関係が深いものを収録している。Genii (<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>) にも収録されている。

- **Southeast Asian Serials Index** (<http://anulib.anu.edu.au/sasi/new/>)  
オーストラリア国立大学 (ANU) とオランダ王立言語地理民族学研究所 (KITLV) が共同で提供する東南アジア雑誌記事索引。略称 SASI。インドネシア関連の学術雑誌を中心に、「Gatra」「Tempo」などの時事誌も含めた 141 誌を収録対象とする。記事名、著者名、件名での検索のほか、雑誌ごとの記事一覧が可能。
- **Excerpta Indonesica**  
(<http://tlvlbs.leidenuniv.nl:8080/IMPLAND=Y/SRT=YOP//LNG=EN//DB=1.7/>)  
オランダ王立言語地理民族学研究所 (KITLV) 作成のインドネシア関係抄録データベース。書籍・雑誌に掲載された人文社会科学論文を主な収録対象とする。各種キーワードでの検索のほか、分類での一括検索が可能。検索結果には書誌事項のほか件名、英語の抄録が付されている。1970 年から 2002 年までは冊子体で刊行。

### 1.5.3. 南アジア

- **Indian and Bhuddhist Studies Treatise Database(INBUDS)**  
(<http://www.inbuds.net/>)  
日本インド学仏教学会作成。主として日本国内で発行された定期刊行雑誌、記念論文集、一般の論文集のうち、インド学・仏教学に関する論文が検索可能。
- **Vidyanidhi** (<http://www.vidyanidhi.org.in/>)  
マイソール大学図書館作成の、インドの大学の博士論文の総合目録。著者名やタイトルのほかに、分野からも検索可能。英語のほかにカンナダ語とヒンディ語でも検索可能。大学のダイレクトリーもあり、282 大学が収録されている。
- **Bibliography of Asian Studies-South Asia Index**  
(<http://dsal.uchicago.edu/indexes/bas/index.html>)  
**Digital South Asia Library**(<http://dsal.uchicago.edu/>)のコンテンツの1つ。有料のアジア関係論文データベース **BAS Online**(1971-) (<http://www.aasianst.org/bassub.htm>)のうち、南アジア関係の論文約 188,000 件以上が無料で検索できる。BAS Online は、索引誌 *The Bibliography of Asian Studies*, Association for the Asian Studies, 1971-91 をデータベース化したものだが、冊子体の刊行が終了した 1992 年以降の論文も収録している。

### 1.5.4. 中東・北アフリカ、中央アジア

- **日本における中東・イスラーム研究文献目録**  
([http://61.197.194.9/Database/CA\\_ISLM\\_QueryInput.html](http://61.197.194.9/Database/CA_ISLM_QueryInput.html))  
明治以降 1980 年代までの中東・イスラームに関する研究文献が検索可能。1980 年代以降の文献については、「日本における中東研究文献データベース 1989-2005 検索」を検索する。**Genii** (<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>)にも収録されている。

- 日本における中東研究文献データベース 1989－2005 検索  
(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/>)
  - 中央アジア研究文献目録  
(<http://www.toyo-bunko.or.jp/ceacs/CentralAsia.html>)  
明治以降 1980 年代までの中央アジア地域に関する人文・社会科学分野の研究文献が検索可能。Genii (<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>)にも収録されている。
- ※中東、中央アジア、どちらの地域を調べる場合にも、上記3つの索引はすべて検索した方がよい。
- TOCS-IN (<http://www.chass.utoronto.ca/amphoras/tocs.html>)  
古典、近東研究関連の記事を検索することができる。採録誌は **Tables of Contents of Journals of Interest to Classicists** (<http://www.chass.utoronto.ca/amphoras/tdata/inform.html>) 参照。

## 1.6. 法律

法律は、各国の行政機関、法務省のサイトで調べることができるが、世界各国の法律を対象にしたデータベースや、地域全体の数カ国についてのデータベースも作成されている。ここでは代表的なサイトをいくつか紹介する。

### 1.6.1. アジア全般

- Asian Law Online (<http://www.law.unimelb.edu.au/alc/bibliography/>)  
メルボルン大学アジア法律センター作成のアジア法律文献索引データベース。英語で書かれた図書、目次情報、学術雑誌論文を収録対象とする。キーワード検索のほか、国名・主題での一覧が可能。
- Global Legal Information Network (GLIN) (<http://www.glin.gov/>)  
アメリカ Library of Congress が作成した、法律データベース。More Search Options をクリックすると、検索語の種類(法律名、要約、名前、法律番号)言語、公布年月、司法管区、件名で絞り込める。アジア関係では、言語は、英語、フランス語、アラビア語、中国語、司法管区では、韓国、クウェート、パキスタン、フィリピン、台湾、チュニジアの法律が収録されており、韓国、クウェート、フィリピン、台湾、チュニジアについては、全法律フルテキストが閲覧可能。
- World Legal Information Institute (WorldLII) (<http://www.worldlii.org/>)  
世界の法律データベース。検索は全文検索。Catalog>Countries とクリックしていくと、国別、テーマ別に収録されている法律の一覧も見られる。

### 1.6.2. 南アジア

- **India Code Information System** (<http://indiacode.nic.in/>)  
1834年以降に制定された、インドの法令索引。法律名、法律番号、公布年、テーマ、全文で検索が可能。

### 1.6.3. 中央アジア

- **Law Reform in Transition States** (<http://www.cis-legal-reform.org>)  
アジア・南カフカース諸国の法律データベース。

※ 各国の法律については、アジア情報室ホームページ、インターネット情報資源 ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国のページの、[行政機関/Administrative Agency] の、Ministry of Justice 等、及び 国立国会図書館 議会官庁資料室ホームページ ([http://www.ndl.go.jp/horei\\_jp/index.htm](http://www.ndl.go.jp/horei_jp/index.htm))を参照。

## 1.7. 人物

人物については、商用データベースは多く作られているが、無料で検索できるサイトは少ない。ここでは、世界の人物検索サイトのうち、アジア関係者が比較的多く収録されている無料サイトを挙げる。

- **Zárate's Political Collections (ZPC)** (<http://www.terra.es/personal2/monolith/>)  
1945 年以降の世界の指導者についてのデータベース集。**World Political Leaders 1945-2005** では、国別に、歴代大統領、首相、議会の議長などの名前と任期が調べられる。顔写真または肖像画もついている。
- **Gale's Literary index** (<http://www.galenet.com/servlet/LitIndex>)  
Gale グループの刊行物 100 数タイトルに掲載された作家 14 万人の索引。簡単な紹介が記載されている。
- **Union List of Artist Names**  
([http://www.getty.edu/research/conducting\\_research/vocabularies/ulan/](http://www.getty.edu/research/conducting_research/vocabularies/ulan/))  
300 タイトル以上の参考図書に掲載された画家、芸術家 22 万人の索引。簡単な紹介が記載されている。
- **Specialist Database: Access Asia** (<http://accessasia.nbr.org/database/quick/>)  
米国の、アジア太平洋政策に関する研究所 **The National Bureau of Asian Research (NBR)** が作っている情報センター **Access Asia** (<http://accessasia.nbr.org/>) で提供しているデータベースのうちの1つ。欧米の大学・研究機関所属のアジア関係研究者を、専門地域、名前、プロジェクト、組織名などから検索できる。

## 1.8. 企業情報

アジア経済に対する関心の高まりに伴って、企業情報へのニーズも大きくなってきている。各国の証券取引所や商工会議所では企業の財務状況等を公開している。ここでは、広範囲の企業について収録しているサイトを紹介する。

### 1.8.1. アジア全般

- **Alibaba Manufacturer Directory** (<http://www.alibaba.com/>)  
世界の企業ダイレクトリー。プルダウンメニューで **Companies** を選び、キーワードを入力すると、企業名と紹介文中の単語で検索できる。簡単な企業紹介と、住所、電話番号、URL が掲載されている。

### 1.8.2. 東南アジア

- **Wesleyet.com** (<http://www.wesleyet.com/>)  
シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシアにある日系企業の情報データベース。会社名、製品・サービス、ブランド・商標名での検索が可能。
- **DBThai** (<http://www.dbthai.com/>)  
タイ商務省に登録されている 60 万件の登記・財務情報を検索・閲覧できるデータベース。Business Online 社提供。無料登録すれば企業名の検索は可能だが、詳細情報の閲覧は有料。

### 1.8.3. 南アジア

- **India MART** (<http://www.indiamart.com/>)  
インド企業の株価動向を業界別に掲載。‘Business Directory & Yellow Pages ’は業種別、アルファベット順の企業名簿。

※企業情報は、各国の Yellow Page のサイトでも得られる。アジア情報課ホームページ、インターネット情報資源 ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国のページの[リンク集・サーチエンジン/Link and Search Engine] を参照。

## 1.9. 統計

### 1.9.1. アジア全般

- 総務省統計局 (<http://www.stat.go.jp/>)  
『世界の統計:編集:総務省統計研修所 発行:総務省統計局』の web 版や、外国政府の統計機関へのリンク集あり。
  - 日本貿易振興機構(JETRO) (<http://www.jetro.go.jp/indexj.html/>)  
海外のビジネス情報 > 国・地域別情報で各国の基本経済統計が見られる。
  - 日本貿易振興機構(JETRO)アジア経済研究所図書館  
(<http://www.ide.go.jp/Japanese/Library/index.html/>)  
各国の主要な主題別統計資料リスト、よくある質問集(統計データの入手方法)などを掲載。また、OPAC から統計資料の検索だけではなく、web 上の関連統計資料・データにアクセス可能。
  - ADB:Asian Development Bank (<http://www.adb.org/statistics/>)  
**Key Indicators, Development of Environment Statistics in Developing Asian and Pacific Countries** などアジア開発銀行発行の統計資料が見られる。
  - UNPAN Statistical Database ([http://www.unpan.org/statistical\\_database.asp](http://www.unpan.org/statistical_database.asp))  
国連の調査機関 United Nations Online Network in Public Administration and Finance による、統計のデータベース。行政、開発、財政、人材育成、経済など、幅広い分野の統計やレポートが掲載されており、一部は PDF ファイルで見ることができる。
  - OFFSTATS (<http://www.library.auckland.ac.nz/subjects/stats/offstats/>)  
オークランド大学図書館作成の統計関係リンク集。
- ※ アジア情報室ホームページ、テーマ別調べ方案内 **統計の調べ方(アジア全体)** ([http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme\\_asia\\_40.html](http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme_asia_40.html))を参照。

### 1.9.2. 東南アジア

- ASEAN Statistics (<http://www.aseansec.org/13100.htm>)  
アセアン各国の国内総生産、金融、対外貿易、投資などの各種統計を、年間/季刊指標と月刊指標に大別して掲載している。
- ※各国の統計については、アジア情報室ホームページ、テーマ別調べ方案内 **統計の調べ方(東南アジア)** ([http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme\\_asia\\_42.html](http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme_asia_42.html))を参照。



### 1.9.3. 南アジア

- **Statistical Information, Digital South Asia Library** (<http://dsal.uchicago.edu/statistics/>)  
*Statistical abstract relating to British India*, London: His Majesty's Stationary Office の1840年から1920年分を画像として提供。さらに各国の現在の統計のサイトにリンクを張っている。
- **Census of India** (<http://www.censusindia.net/>)  
1782年から10年ごとに行われている国勢調査の記録。最新は2001年。

※各国の統計については、アジア情報室ホームページ、テーマ別調べ案内 **統計の調べ方(南アジア)** ([http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme\\_asia\\_43.html](http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme_asia_43.html))を参照。

### 1.9.4. 中央アジア

- **Interstate Statistical Committee of the CIS** (<http://www.cisstat.com/>)  
CIS 諸国の基本的な統計データを提供。

※各国の統計については、アジア情報室ホームページ、テーマ別調べ案内 **統計の調べ方(中央アジア)** ([http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme\\_asia\\_44.html](http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/asia/theme_asia_44.html))を参照。

## 1.10. 地図

地図の画像がオンラインで提供されているサイトを紹介する。

### 1.10.1. アジア全般

- **University of Texas Perry-Castañeda Library Map Collection** (<http://www.lib.utexas.edu/maps/>)  
テキサス大学による地図データベース。**Online Maps of Current Interest** は、現在注目されている事項に関連する地図情報へのリンクが張られており、**Online Maps of General Interest** からは、地域別、主題別の地図を見ることができる。

### 1.10.2. 東南アジア

- **Southeast Asian Topographic Map Databases** (<http://aris.cseas.kyoto-u.ac.jp/>)  
京都大学東南アジア研究所が提供する地形図画像データベース。地形画像に付与したダブリンコア・メタデータでの検索、地図インデックスからの検索が可能。画像データの閲覧にはパスワードが必要。

### 1.10.3. 南アジア

○ **Maps of India** (<http://www.mapsofindia.com/>)

インド全土の地図から、詳細な都市地図まで、また旅行用地図や地形図など、様々な縮尺や主題の地図が掲載されており、閲覧だけでなく、画像データを購入することもできる。地図専門書店 **India Map store** へのリンクもある。

※各国の地方自治体のサイトで、観光地図などを見られる場合も多い。アジア情報室ホームページ **インターネット情報資源** ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国のページの、[地方自治体/Local Government]を参照。

※一枚ものの地図や地図帳は、研究機関や図書館などで所蔵目録を提供しているほか、画像が見られる場合もある。アジア情報室ホームページ **インターネット情報資源** ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia\\_05link.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/asia_05link.html)) 各国、各地域の、[図書館/Library]、[研究機関/Research Institution] も参照。

## 1.11. 学術データベース

### 1.11.1. アジア全般

○ **服装・身装文化(コスチューム)データベース** (<http://www.minpaku.ac.jp/database/>)

国立民族学博物館が所蔵している衣服標本資料の詳細分析情報 10,776 件、および画像情報 7,316 件(39,679 枚)、その他、関連情報を収録。民族・地域名、標準衣服名(ジャケット型、ブラウス型等)、素材、布地特性、構造技術などの項目で検索できる。**アクセサリー・身装文化デジタルアーカイブ** (<http://www.minpaku.ac.jp/database/accessory.html>)ともリンクしている。

○ **Asia-Studies Full-text Online** (<http://www.asia-studies.com/>)

アジア各国の研究機関、アジア太平洋経済協力会議(APEC)、アジア開発銀行(ADB)などが発行した報告書類の全文データベース。検索及び検索結果の表示は無料だが、全文表示は有料。

### 1.11.2. 東南アジア

○ **Southeast Asian Archaeology Scholarly Website**

(<http://seasia.museum.upenn.edu/>)

ペンシルベニア大学博物館作成の東南アジアの考古学・人類学関連サイト。2つのデータベースを公開している。「**Bibliographic Database**」では図書・雑誌・会議資料・学位論文などから採録した約4,400件の書誌情報が検索可能。「**Skeletal Database**」はタイ北部の世界遺産バン・チアン遺跡から出土した人骨データを提供している。

### 1.11.3. 南アジア

○ NIBL: National bibliography of Indian literature

(<http://dsal.uchicago.edu/cgi-bin/nbil.py>)

*National bibliography of Indian literature 1901-1953*, Sahitya Akademi, 1962-90 をデータベース化したもの。インドの22の言語の文学書約56,000件が検索可能。人文分野の資料が幅広く収録されている。シカゴ大学 Center for South Asia Libraries の電子図書館プロジェクトにより、マイクロ化されたものの書誌は、**Center for Research Libraries catalog**(<http://www.crl.edu/catalog/index.htm>)に収録されている。

○ The official Mahatma Gandhi eArchive & Reference Library

(<http://web.mahatma.org.in/>)

マハトマ・ガンディーについてのオフィシャルホームページ。ガンディーの著作と、ガンディーに関する文献のデータ250,000件、45,000件の写真、数百の漫画、48時間分のスピーチと5時間半分のビデオが、検索、閲覧、視聴できる。文献データは全文検索ができ、本文も見られる。写真は、時代別、テーマ別に見ることができる。

○ Official Publications of India

(<http://www.lib.uchicago.edu/e/su/southasia/off-pubs.html>)

**Digital South Asia Library**(<http://dsal.uchicago.edu/>)のコンテンツの1つ。英国図書館、Oriental and India Office Collections と、Social Policy Information Service に収録されている、インド独立前後の政府刊行物が検索できる。

### 1.11.4. 中東・北アフリカ、中央アジア

○ イスラム事典データベース(東大東文研)

(<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/%7Eislam2/search.shtml>)

平凡社刊『イスラム事典』(初版1982年刊)の項目をデータベース化したもの。データベース化にあたっては内容の見直しも行われた。現在、約700項目が掲載されている。

## 1.12. 学術ポータルサイト

アジア関係研究機関や大学図書館では、学術情報や選書、レファレンスに役立つ情報を集めたポータルサイトを作成しており、図書館員にとっては大変便利である。

### 1.12.1. アジア全般

○ アジア研究情報 Gateway (<http://asi.ioc.u-tokyo.ac.jp/>)

東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究センターが、日本におけるアジア学の研究情報を総合的に組織化し、発信することを目的として作成したページ。アジア研究の動向や、書店、図書館・文書館の地図付きガイドや、アジア研究機関の情報などを見ることができる。

○ Asian Studies WWW Virtual Library

(<http://coombs.anu.edu.au/WWWVL-AsianStudies.html>)

オーストラリア国立図書館による、アジア関係リンク集。一次情報が見られるサイトや、オンライン出版、テーマ別、地域別書誌紹介、ネット書店、などのサイトにリンクしている。

### 1.12.2. 東南アジア

○ Southeast Asia Resouces (<http://www.lib.berkeley.edu/SSEAL/SoutheastAsia/>)

カリフォルニア大学バークレー校南・東南アジア図書館作成。Bibliographic Guide で参考図書案内、東南アジア図書館員名簿、各種書誌を紹介。Electronic Resources でWeb 資源、ネットで閲覧できる電子ジャーナル、図書館リンク、書店リンクなどを提供。

○ Southeast Asia Guide (<http://www.library.wisc.edu/guides/SEAsia/>)

ウイスコンシン大学マディソン校記念図書館作成。東南アジア研究に資する参考図書、データベース、インターネット情報を掲載する。その他、東南アジアのコレクションを所蔵する図書館のリンク集、東南アジア関係機関のリンク集など。

### 1.12.3. 南アジア

○ Digital South Asia Library (<http://dsal.uchicago.edu/>)

コロンビア大学、シカゴ大学と、Center for Research Libraries による、電子図書館サービス。レファレンスブック、写真、地図、統計の電子化された画像の他、書誌検索、書籍や雑誌の全文検索データベースが提供されている。Bibliographies and Union Lists をクリックすると、英国図書館所蔵の19世紀のインド出版物の書誌データベースや、Urdu Research Library Consortium のウルドゥ文献コレクション 26,000 件以上のうち、データ化された約 6,000 件等を検索することができる。

○ Sarai : South & Southeast Asian Studies

(<http://www.columbia.edu/cu/lweb/indiv/southasia/cuvl/>)

コロンビア大学図書館による、デジタルライブラリーサービス。レファレンスに役立つリンク集。電子ジャーナルやレファレンスツール、のほか、国別、分野別リンク集も充実している。e-image では、画像付きの写真データベースにもリンクしている。

○ South Asia Resources (<http://www.lib.berkeley.edu/SSEAL/SouthAsia/>)

カリフォルニア大学バークレー校南・東南アジア図書館作成。Bibliographies & Webliographies は、同校に限定しないテーマ別情報源。書籍と同時にウェブサイトを多数紹介している。南アジア系移民社会についての情報も、文献、サイトの両方を紹介している。また、同校には The Center for South Asia Studies (CSAS) (<http://www.ias.berkeley.edu/southasia/>) が設置されている。

#### 1.12.4. 中東・北アフリカ、中央アジア

- **MENALIB: Middle East Virtual Library**  
(<http://ssgdoc.bibliothek.uni-halle.de/vlib/html/index.html>)  
Saxony-Anhalt 州立・大学図書館作成のヴァーチャル・ライブラリー。
- **MENIC stands for the Middle East Network Information Center**  
(<http://menic.utexas.edu/menic/>)  
Center for Middle Eastern Studies at the University of Texas at Austin 提供。芸術、人文、ビジネス情報、地域情報など幅広いリンクが特徴。
- **ETANA** (<http://www.etana.org/>)  
古代中東研究の豊富なリンクがある。
- **The Oriental Institute, The University of Chicago**  
(<http://oi.uchicago.edu/OI/default.html>)  
シカゴ大学東洋研究所のサイト。博物館やコレクションの解説、Photographic Arcives などがある。
- **The Jewish History Resource Center(The Hebrew University of Jerusalem The Dinur Center for Research in Jewish History)**  
(<http://www.dinur.org/1.html?rsID=219>)  
ユダヤ歴史研究に関する3,000以上のサイトがリンクされている。関連書籍も見ることができる。
- **Jewish Virtual Library** (<http://www.jewishvirtuallibrary.org/jsource/index.html>)  
American-Israeli Cooperative Enterprise:AICE 作成。リンクが豊富であり、10,000件を超える記事と5,000枚の地図、写真が掲載されている。
- **スラブ研究リンク集**(<http://slav-db.slav.hokudai.ac.jp/fmi/xsl/link.xsl>)  
中央アジア地域の豊富なリンクがある。

### 1.13. 図書館関係団体

#### 1.13.1. アジア全般

- **Mapping Asia** (<http://www.asiamap.ac.uk/index.php>)  
イギリス公共図書館、大学図書館、専門図書館で所蔵する、アジア、中東、北アフリカ関係のコレクション情報のサイト。コレクション名や内容に含まれるキーワードで検索可能。新聞の総合目録もあり。

### 1.13.2. 東南アジア

- **Congress of Southeast Asian Librarians (<http://www.consal.org.sg/>)**  
東南アジア図書館人会議 (CONSAL) のホームページ。会議報告、図書館関連の最新情報、資料の紹介、各種報告・論文、インターネットリンク集など、東南アジア地域の図書館動向を知るのに有用。会員ページの閲覧は登録が必要。
- **Committee on Research Materials on Southeast Asia (<http://cormosea.org/>)**  
東南アジア研究資料委員会 (CORMOSEA) のホームページ。東南アジア関連の各種名簿、書店案内、インターネットリンク集など。南アジアの **Digital South Asia Library** (<http://dsal.uchicago.edu/>) をモデルにした **Southeast Asia Digital Library** 構築が進行中。

### 1.13.3. 南アジア

- **Committee on South Asian Libraries and Documentation (CONSALD)**  
(<http://www.lib.virginia.edu/area-studies/SouthAsia/Lib/consald.html>)  
アメリカの、南アジア関係のコレクションを持つ図書館の団体。会議録、リンク集などが掲載されている。

## 第2章. 中国・香港・台湾

### 2.1. はじめに

日本、中国、香港、台湾は同じ漢字圏とはいえ、使用される漢字やその文字コードが日本漢字(Shift\_JIS など)、簡体字(GB2312 など)、繁体字(Big5 など)とそれぞれ異なっている。

ここで紹介するデータベースは、特に解説のある場合を除き、中国のデータベースは簡体字、香港、台湾のデータベースは繁体字で入力することを前提とする。

### 2.2. 書誌情報・所蔵

#### 2.2.1. 日本

##### 2.2.1.1. 総合目録

- NACIS Webcat ([http://webcat.nii.ac.jp/webcat\\_eng.html](http://webcat.nii.ac.jp/webcat_eng.html))  
中国語図書を検索する際は、多言語対応している英語版を選択。
- 全国漢籍データベース(<http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki/>)  
32 機関の所蔵漢籍データについて検索可能。

##### 2.2.1.1. 主要図書館蔵書目録

- 国立国会図書館アジア言語 OPAC(<http://asiaopac.ndl.go.jp/>)  
1986 年度以降に整理された中国語図書が検索可能。

#### 2.2.2. 中国

##### 2.2.2.1. 総合目録

- CALIS(中国高等教育文献保障系统, China Academic Library and Information System)(<http://www.calis.edu.cn/>)  
中国の大学図書館コンソーシアム。現在は CADAL(中英文图书数字化国际合作计划, China-America Digital Academic Library)と統合されて CADLIS(中国高等教育数字化图书馆项目, China Academic Digital Library & Information System)となっているが、ホームページ上では CALIS の名前で以下の総合目録を公開している。

OPAC: CALIS 联机公共数据库查询&馆际互借系统

(<http://opac.calis.edu.cn/>)

大学図書館を中心とする 530 機関(2005 年 10 月 31 日現在)の所蔵が検索できる。中国語図書を検索する場合は「**联合目录(中文)**」を選択。2005 年 9 月 30 日時点で 1,035,920 件の中国語図書のデータを登録している。

##### 2.2.2.2. 主要図書館蔵書目録

- 中国国家图书馆(<http://www.nlc.gov.cn/>)  
OPAC: 国家图书馆联机公共目录查询系统(<http://210.82.118.4:8080/F/>)

図書、雑誌、新聞、漢籍、博士論文、金石拓本文献、敦煌文献などについて横断検索することができる。「匿名検索」をクリックすると検索画面に入ることができる。

また、中国国家図書館は海外の個人の利用者に対しても複写サービスを提供している。詳細はアジア情報室ホームページの以下のページを参照。

**アジア情報室ホームページ: 海外の図書館の複写サービス**

([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/contents/asia\\_copyinfo.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/contents/asia_copyinfo.html))

- **上海図書館** (<http://www.library.sh.cn/>)

OPAC: 上海図書館目録 iPac (<http://ipac.library.sh.cn/>)

中国語図書、雑誌、新聞の蔵書検索は「**书目查询**」、漢籍、族譜(家譜)の蔵書検索はタブメニューの「**历史文献**」を選択。

### 2.2.3. 香港

#### 2.2.3.1. 総合目録

- **港書網(香港高校圖書聯網) / HKALL(Hong Kong Academic Library Link)**

(<http://hkall.hku.hk/>)

以下の8機関の蔵書を検索することができる。

香港大學圖書館, 香港中文大學圖書館, 香港城市大學, 香港浸會大學, 香港理工大學, 香港教育學院, 香港科技大學, 嶺南大學圖書館

- **Multiple Search for Libraries in Hong Kong via Z39.50**

(<http://www.lib.hku.hk/dragon/hongkong.html>)

香港大学図書館が運営する Z39.50 を利用した横断蔵書検索システム。香港、台湾、北米にある51の機関の蔵書目録を検索できる。

#### 2.2.3.2. 主要図書館蔵書目録

- **香港大學圖書館** (<http://lib.hku.hk/>)

OPAC: Dragon Library Catalogue (<http://library.hku.hk/>)

- **香港中文大學圖書館** (<http://www.lib.cuhk.edu.hk/>)

OPAC: Library Catalogue (<http://library.cuhk.edu.hk/>)

- **香港公共圖書館** (<http://www.hkpl.gov.hk/>)

OPAC: 圖書館聯機目録 (<http://library.cuhk.edu.hk/>)

### 2.2.4. 台湾

#### 2.2.4.1. 総合目録

- **全國圖書目資訊網 (NBINet)** (<http://nbinet1.ncl.edu.tw/>)

国家図書館を中心に台湾の各図書館が共同で総合目録を構築することを目的としたプロジェクト。

OPAC: 圖書聯合目録 ([http://nbinet1.ncl.edu.tw/screens/opac\\_menu.html](http://nbinet1.ncl.edu.tw/screens/opac_menu.html))

国家図書館、公共図書館、大学図書館など76機関の中国語図書、欧米言語図書の蔵書検索が可能。



OPAC: 台湾地區善本古籍聯合目錄(<http://nbinet1.ncl.edu.tw/screens/chrish.htm>)

故宮博物院、臺灣大學圖書館、政治大會圖書館、臺灣師範大學圖書館、東海大學圖書館、國立中央圖書館臺灣分館、中研院史語所圖書館、中研院文哲所圖書館、國家圖書館の9機関が所蔵する116,034タイトルの漢籍が検索可能。

○ 全國文獻傳遞服務系統(Nationwide Document Delivery System)

(<http://ill.stic.gov.tw/>)

國家科技政策研究與資訊中心が運営するILLシステム。

雑誌の総合目録である「**全國期刊聯合目錄資料庫**」、各機関の蔵書目録を含め、各種データベースを検索することができる **REAL** (Research All In One) システム(トップページから「**睿鷗 REAL-圖書館館藏查詢**」を選択、次画面で「**登入試用**」をクリックすると検索画面に入ることができる)が公開されている。

○ 中文古籍書目資料庫(<http://rarebook.ncl.edu.tw/rbook.cgi/frameset4.htm>)

中国国家図書館(北京)、国家図書館(台湾)、アメリカ議会図書館など中国、香港、マカオ、台湾、アメリカの25の図書館が所蔵する約450,000タイトルの漢籍が検索可能。

○ 全國報紙資訊系統([http://192.192.58.101/cgi/ncl9/m\\_ncl9\\_news](http://192.192.58.101/cgi/ncl9/m_ncl9_news))

台湾の図書館が所蔵する中国語、欧米言語新聞の所蔵が検索可能。検索項目「**館藏單位**」には国家図書館、台湾大学図書館の2館のみしか選択できないが、他の図書館の所蔵も調べることができる(国家図書館、台湾大学図書館が所蔵新する新聞の書誌を提供し、他館の所蔵データをぶら下げるといった方式ではないかと思われる)。

#### 2.2.4.2. 主要図書館蔵書目録

○ 國家圖書館(<http://www2.ncl.edu.tw/>)

OPAC: 館藏目錄查詢(<http://lib.ncl.edu.tw/urica.html>)

国家図書館で所蔵する中国語、欧米言語の図書、雑誌、漢籍、地図資料などが検索可能。

## 2.3. 出版情報(図書)

### 2.3.1. 日本

○ 東方書店(<http://www.toho-shoten.co.jp/>)

書籍データベースは、日本語漢字、中国語漢字(簡体字、繁体字)どちらで入力しても可。書誌に日本語もしくは中国語の紹介が掲載されているものがある。その他、東方書店で取り扱う中国語の雑誌、新聞、パソコンソフトなどの目録を公開している。また、東方書店が総代理店になっているCNKIの日本版ミラーサイトが開設されており、中国語学術雑誌論文名データベース「**中国期刊題录数据库**」が無料で利用できる。

○ 書虫(<http://www.frelax.com/sc/>)

中国語図書をあつかう日本のオンライン書店。書籍データベースは日本語漢字での入力になる。中国語の紹介を掲載する資料もある。また、書虫では漢字のピンインを調べるツール「**ピンイン(pinyin)変換サービス**」を公開している。

○ 中国書籍販売店データベース(<http://www.shuiren.org/books/books-w.htm>)

日本国内で中国語資料を扱う書店について、住所、電話番号、地図、概要、URLなどを掲載する。まだホームページを開設していない書店についても情報を掲載している。

### 2.3.2. 中国

- **新华书店** (<http://www.bjfxs.com.cn/index.html>)  
中国最大の書店。各地の新華書店がそれぞれで別のオンライン書店を運営している。ここで紹介するホームページは「社科新书目」、「科技新书目」を発行する新華総店北京発行所のもの。書籍データベースは「社科新书目」、「科技新书目」などの新書速報に掲載されたものに範囲を絞って検索することができる。
- **当当书店** (<http://www.dangdang.com/>)  
中国最大のオンライン書店。学術書から一般書まで幅広く扱っている。各タイトルには表紙の画像、作者紹介、解題、カスタマーレビューのほか目次情報などが掲載されている(目次検索は不可)。
- **中国书店** (<http://www.zgsd.net/>)  
学術書を専門に扱っている書店。
- **龙源国际书网** (<http://www.dragonsource.com/>)  
約200,000タイトルの中国語図書、6,000余タイトルの中国語雑誌を検索可能。新聞出版総署が所管する『全国新书目』(当館請求記号 Z21-AC61)によると、このサイトに新聞出版総署の名前はないものの、『全国新书目』のオンライン版という位置付けのようだ。
- **读秀图书搜索** (<http://www.duxiu.com/>)  
中国語図書、雑誌に関するサーチエンジン。表紙、目次、奥付、本文の17頁までを閲覧することができる(ただし、表示不良)。また、各タイトルについて、オンライン書店の価格比較、図書館の所蔵情報、ウェブ上で公開されている場合にはそのサイトへのリンクが掲載されている。

### 2.3.3. 香港

香港と台湾は同じ繁体字を使用するため、香港、台湾の書店はいずれの地域で出版された図書も扱っている所が多い。繁体字図書で一方の地域の書店で見つけることができなかつた場合は、もう一方の地域の書店も調べてみるとよい。

- **CP1897.com** (<http://www.cp1897.com.hk/>)  
商務印書館(香港)有限公司が運営するオンライン書店。中国語図書(中国、香港、台湾の出版物)、洋書を扱う。
- **三聯書店** (<http://jointpublishing.com/>)  
三聯書店(香港)有限公司が運営するオンライン書店。中国語図書(中国、香港、台湾の出版物)、洋書を扱う。
- **YesAsia.com** (<http://global.yesasia.com/en/index.aspx>)  
書籍では東アジアの出版物(香港、台湾の繁体字図書、日本語、ハングル図書など)を扱う。

○ **出版之門**(<http://www.publishing.com.hk/>)

出版情報のポータルサイト。中国、香港、台湾、マレーシア、シンガポールの書籍の売れ行きランキングを掲載するほか、「出版名録」では中国、香港、台湾、欧米の出版社、オンライン書店、書店などの情報を掲載する。

### **2.3.4. 台湾**

○ **華文知識入口網**(<http://search.ncl.edu.tw/>)

国家図書館(台湾)が運営のポータルサイト(「華文知識入口網」)については、**2.15.3** の項を参照)。データベース分類のなかで「**出版資訊系統**」を選択すると、国家図書館が公開する新書情報(「全國新書資訊網」)、政府刊行物(「中華民國政府出版品網」)、台湾の11のオンライン書店(「網路書店」)、台湾の各出版社(「出版商」)のデータベースが横断検索できる。

○ **博客來網路書店**(<http://www.books.com.tw/>)

台湾最大のオンライン書店。開業が1995年と台湾では最も早く開業されたオンライン書店でもある。学術書から一般書まで幅広く扱う。一般誌が中心のようだが、雑誌の目録も掲載している。

## **2.4. 出版情報(雑誌)**

### **2.4.1. 中国**

○ **龍源期刊網**(<http://www.qikan.com/>)

電子版雑誌1,000タイトル、紙版雑誌3,000タイトルを検索できる。学術雑誌も掲載しているが、一般誌を多く掲載している。電子版については、各号の目次の確認、論文検索が可能(電子版は論文・記事単位での購入が可能)。

○ **鴻蒙中国書店**(<http://www.yearbookcity.com/>)

日本語サイト。価格も日本円で表示されている。年鑑、企業ダイレクトリーなどのタイトルを豊富に掲載している。

### **2.4.2. 台湾**

○ **中華民國出版期刊指南系統**

(<http://readopac.ncl.edu.tw/cgi/ncl9/newjrnl2?c,url>)

台湾で出版された雑誌2,756タイトルについて、出版事項、連絡先、雑誌のURLを掲載する。書名や出版者、分類等からの検索ができるほか、創刊、停廃刊した雑誌のリストが公開されている。

## 2.5. 新聞

インターネットで中国の最新のニュースを得る場合、検索エンジン、ポータルサイトのニュース欄などが各新聞の情報が集約されていて便利であるが、ここでは新聞社系のサイトを中心に紹介する(検索エンジンとポータルサイトについては、それぞれ 2.17 と 2.18 で紹介する)。

### 2.5.1. リンク集

中国語の新聞サイトには以下のリンク集がある。

○ **中国媒體大全**(<http://www.zzi.net/media.htm>)

中国、香港、台湾、シンガポール、マレーシアなどの新聞サイトのリンクを掲載する。

### 2.5.2. 中国

中国の新聞社は傘下に複数の新聞を持っていることが多く、そのホームページは各新聞のホームページと傘下の新聞に掲載された記事を集約したグループのホームページからなっている。そこでは当日から数年前まで記事をホームページ上で公開し、記事検索も無料で利用できる所が多い。さらにその多くが新聞タイトル、年月日、ページなど新聞の物理的構造から、過去の記事をたどれるようにしてある。

○ **人民网**(<http://www.people.com.cn/>)

人民日報社のサイト。人民日報社は「人民日報」以外に「市場報」、「環球時報」、「京華時報」、「諷刺與幽默」などを発行し、ホームページで数年分のバックナンバーを見ることができる。各新聞のバックナンバーを時系列でたどるには、「人民日報報系」欄の各新聞タイトルをクリックする。「人民日報」は 1997 年以降のテキスト版バックナンバー(ただし、2000 年 3 月以前のものとはリンク切れ)、PDF 版も 2000 年 4 月以降のものについて公開している。また、人民網は日本語版も公開されている。

その他、個々の新聞のホームページについては、以下のリンク集を参照されたい。

○ **上海図書館電子報紙導讀**(<http://newspaper.digilib.sh.cn/website/index.asp>)

上海図書館のリンク集の一部。新聞社サイトのトップページではなく、その下層に設けられている個々の新聞サイトにリンクをはっている。地域カテゴリー、拼音カテゴリー、紙名検索が用意されている。

○ **新華網**(<http://www.xinhua.org/>)

新華通訊社のサイト。2004 年 9 月以降新華通訊社が発表する記事が閲覧可能。

○ **中国重要報紙全文数据库**(<http://www.cnki.net/NewWeb/>)

2000 年以降の中国(大陸)で発行された重要新聞 400 余誌(2005 年より 1,000 誌に拡大)の新聞記事が検索可能。しかし、各新聞のすべての記事を掲載しているのではなく、学術性、資料性の高いものについて選択的に掲載している。

### 2.5.3. 香港

香港の新聞社サイトについては中国系の**大公報**、**文匯報**のサイト以外に、過去数年分のバツ

クナンバーを提供しているところが見つからなかった。

- **大公報**(<http://www.takungpao.com/>)  
数年前の記事から閲覧可能。
- **香港文匯報**(<http://www.wenweipo.com/>)  
2003 年以降の記事から閲覧可能。
- **South China Morning Post** (<http://www.scmp.com/>)  
1993 年以降の記事について検索することができるが、無料で見られるのは要約のみで全文の閲覧は有料。

#### **2.5.4. 台湾**

台湾の新聞社サイトは有料サービスとして記事検索と過去の記事の閲覧を提供し手いる所が多く、無料で利用できるのは過去一週間、一ヵ月など短期間のみ見という所が多い。

- **中時電子報**(<http://news.chinatimes.com/>)  
中國時報、工商時報、中時晩報の一ヵ月前までの記事が閲覧可能。
- **聯合新聞網**(<http://udn.com/NEWS/main.html>)  
聯合報、經濟日報、民生報などをのバックナンバーが検索可能。無料で検索できる期間は不明。
- **全國報紙資訊系統**([http://192.192.58.101/cgi/ncl9/m\\_ncl9\\_news](http://192.192.58.101/cgi/ncl9/m_ncl9_news))  
国家図書館が運営する。「**電子報總覽**」がニュースサイトのカテゴリー別リンク集になっている。
- **舊版報紙資訊網**(<http://paper.ntl.gov.tw/>)  
国立台中図書館が所蔵する 1940 年代から 1960 年代に発行された台湾の新聞の画像データが閲覧可能。標題や人名、地名などの主題から検索できるようになっている。

### **2.6. 雑誌記事・論文検索**

#### **2.6.1. 日本**

- **東洋学文献類目**(<http://www.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db/CHINA3/index.html.ja>)

#### **2.6.2. 中国**

以下は **CNKI(China National Knowledge Infrastructure)**で利用できる論文データベースの中国版と日本版(ミラーサイト)である(CNKI については **2.15.2** の項参照)。中国版のサイトは図書、会議目録などのデータベースといっしょに横断検索できるが、反応が遅い。日本のミラーサイトの反応速度は安定して早いので、論文検索目的なら日本のミラーサイトを検索するとよい。

- **日本 CNKI 数据库**(<http://cnki.toho-shoten.co.jp/>)  
下で紹介する「**中国知网 (CNKI)**」の日本版ミラーサイト。「**中国期刊题录数据库**」を選択。中国学術雑誌全文データベースに収録された論文(1994 年以降の中国(大陸)で発行された重要雑誌 6,100 誌に掲載された論文)の検索が可能。
- **中国知网 (CNKI)** (<http://www.cnki.net/>)  
学術雑誌掲載の論文を検索する場合は、「**中国期刊全文数据库**」を選択。1994 年以降(一部 1979 年以降)の中国(大陸)では発行された重要雑誌 7,486 誌に掲載された論文の検索が可能。本文の閲覧は有料である。

### **2.6.3. 香港**

- **香港中文期刊論文索引**(<http://hkinchippub.lib.cuhk.edu.hk/>)  
香港で発行された中国語雑誌約 150 タイトルに掲載された論文を検索できる。一部は 1950 年代から検索できるが、おおむね 1990 年以降発表の論文が検索できる。
- **中文期刊篇目索引影像系統**([http://readopac.ncl.edu.tw/cgi/ncl37\\_now/hypage](http://readopac.ncl.edu.tw/cgi/ncl37_now/hypage))  
國家圖書館(台湾)が運営するデータベース。台湾、香港、マカオで発行された中国語、英語の雑誌約 3000 タイトルに 1994 年以降掲載された論文について検索可能。

### **2.6.4. 台湾**

- **中文期刊篇目索引影像系統** ([http://readopac.ncl.edu.tw/cgi/ncl37\\_now/hypage](http://readopac.ncl.edu.tw/cgi/ncl37_now/hypage))  
國家圖書館(台湾)が運営するデータベース。台湾、香港、マカオで発行された中国語、英語の雑誌約 3000 タイトルに 1994 年以降掲載された論文について検索可能。

## **2.7. 法律**

### **2.7.1. 中国**

- **北大法律信息网**(<http://law.chinalawinfo.com/index.asp>)  
法律、行政法規、判例、条約、地方法規、香港・マカオ・台湾のデータベースなどが検索可能。

### **2.7.2. 香港**

- **雙語法例資料系(Bilingual Laws Information System)**  
(<http://www.legislation.gov.hk/>)  
香港の法律を中国語、英語から検索可能。

○ **Historical Laws of Hong Kong Online**

(<http://sunzi.lib.hku.hk/pls/oelawhk2/main.m?SID=>)

香港大学図書館が運営する。1890年、1901年、1912年、1923年、1937年、1950年、1964年の香港の法律をPDF形式で閲覧できる。

### **2.7.3. 台湾**

○ **法源法律網**(<http://www.lawbank.com.tw/index.php>)

法律、行政法規、判例、判決文、法学論文などが検索可能。

○ **全國法規資料庫**(<http://law.moj.gov.tw/>)

法律、行政法規、判例、地方法規などが検索可能。

## **2.8. 政府関係資料**

### **2.8.1. 中国**

○ **中华人民共和国全国人民代表大会常务委员会公报**

([http://www.npc.gov.cn/zgrdw/rdgb\\_qg/index.htm](http://www.npc.gov.cn/zgrdw/rdgb_qg/index.htm))

1957年以降の公報が閲覧可能。

○ **中华人民共和国国务院公报**(<http://www.china.org.cn/ch-gongbao/>)

1999年以降の公報が閲覧可能。

○ **中国政府白皮书**(<http://www.china.org.cn/ch-book/index.htm>)

「中国的民主政治建设」、「2004年中国的国防」などの白書類が閲覧可能。

### **2.8.2. 香港**

○ **刊物及新聞公報**(<http://www.isd.gov.hk/chi/prelease.htm>)

1998年以降の新聞公報(プレスリリース)、政府刊行資料目録、「香港年報」などが閲覧可能。

○ **Government Information Centre Search**(<http://search.info.gov.hk/>)

香港政府各部局で公開している文書を部局、分野、公開日時、ファイル形式など範囲を限定して検索することができる。

### **2.8.3. 台湾**

○ **行政院公報資訊網**(<http://gazette.nat.gov.tw/Gazette/index.jsp>)

行政院各部局で2005年以降公開された公報類を検索可能。全文閲覧可。

○ **立法院公報影像系統**

(<http://lis.ly.gov.tw/lcggi/ttswebq?@0:0:1:/disk1/qr/booktracy!NOT□□XYZ@@0.7370201104645706>)

1953年以降の立法院公報がPDF形式で閲覧可能。1928年から1943年までの公報は「**國民政府時期立法院公報(民國 17-32 年)**」で閲覧できる(「**立院公報影像系統**」のトップページよりリンクが貼られている)。

○ **總統府公報影像系統**

(<http://lis.ly.gov.tw/lcggi/ttsweb?@0:0:1:presidentdb@@0.6414865460618263>)

1911年から現在までの中央政府公報(総督府公報、國民政府公報、臨時政府公報など)がPDF形式で閲覧可能。

○ **政府文獻資訊網**([http://www2.ncl.edu.tw/gov\\_docu/gov\\_docu.htm](http://www2.ncl.edu.tw/gov_docu/gov_docu.htm))

国家図書館が運営する政府関係資料のポータルサイト。「**政府公報查詢系統**」、「**政府統計查詢系統**」、「**政府出版品查詢系統**」などの政府関係資料目録のデータベースが公開されている。

## **2.9. 人物**

### **2.9.1. 中国+香港+マカオ+台湾+世界**

○ **中國名人录(China Vitae)** (<http://www.chinavitae.com/index.php>)

国外の華人を含め、2500人の政治、軍事、経済、学術など各分野の著名人の経歴を検索することができる。それぞれの人物について顔写真も掲載する。データベースは人名を含め、すべてアルファベットで表記されているため、人名で検索する場合は拼音で検索する必要がある。検索画面には“**Enter Research Center**”をクリックすると入ることができる。

### **2.9.2. 中国**

○ **中国人物庫**

(<http://www.chinainfobank.com/IrisBin/Select.dll?Special?db=RW>)

政治家、企業家、学者など中国の著名人の経歴を調べることができる。胡锦涛、温家宝などの中国政府指導者の人物情報から見る限り、情報の更新は2000年前後で止まっているようだ。

### **2.9.3. 台湾**

○ **Taiwan Yearbook**(<http://www.gio.gov.tw/taiwan-website/5-gp/yearbook/>)

同名資料のオンライン版。巻末に”Who’s Who in Taiwan”を掲載する。

## **2.10. 企業情報**

### **2.10.1. 中国**

○ **Alibaba Manufacturer Directory** (<http://www.alibaba.com/>)

中国のB2Bサイト。上のここで紹介するサイトは世界の企業を対象にした英語版。他に日本



場向け日本語サイトの**アリババ**(<http://japan.alibaba.com/>)、中国国内市場向けの中国語サイト**阿里巴巴**(<http://china.alibaba.com/>)を持つ。それぞれサイトで会社概要、住所、電話番号などの連絡先、URL などの会社情報を掲載する。

### **2.10.2. 香港**

- **The Hong Kong Business Directory**(<http://www.chamber.org.hk/hkdir/>)  
香港の商工会議所、香港總商會のサイト。会社名、扱っている製品などから検索できる。

### **2.10.3. 台湾**

- **台灣經貿網**(<http://www.taiwantrade.com.tw/>)  
中華民國對外貿易發展協會が運用するサイト。会社名、扱っている製品から検索できる。日本語ページあり。

## **2.11. 統計**

日本でいえば統計局にあたる機関が公開している政府統計のポータルサイトを掲載する。各サイトでは、政府各機関、各部局が公開する統計情報を分類別に検索、またはキーワードなどで検索できるようになっている。

しかし、統計ポータルサイトも、各機関で公開されているすべての統計情報もしくは統計情報のリンクを掲載しているわけではないので、必要に応じて各機関のホームページで公開されている統計情報も個別にあたってみる必要がある。

### **2.11.1. 中国**

- **中华人民共和国国家统计局**(<http://www.stats.gov.cn/tjsj/>)

### **2.11.2. 香港**

- **香港特別行政區政府統計處**(<http://www.info.gov.hk/censtatd/home.html>)

### **2.11.3. 台湾**

- **中華民國統計資訊網**(<http://www.stat.gov.tw/>)

## 2.12. 地図

### 2.12.1. 中国

中国ではポータルサイト、サーチエンジンがコンテンツの1つとして地図サイトを公開している。地図は大都市にかぎられるが、かなり拡大した地図を見ることができる。また、地名、公共施設などのキーワードで検索できるとサイトが多い。

- **百度地図検索**(<http://map.baidu.com/>)  
サーチエンジン **Baidu(百度)**の地図サイト。北京、天津、上海、広州など大都市の地図が閲覧可能。
- **中国搜索 地図検索**(<http://map.zhongsou.com/>)  
サーチエンジン**中国搜索**が運営する地図サイト。北京、天津、上海、広州など大都市の地図が閲覧可能。

### 2.12.2. 香港

- **中原地圖**(<http://www.centamap.com/cent/index.htm>)  
地図は 800 分の 1(ただし、ベースは 5000 分の 1 地図による)まで拡大可能。住所からの検索が可能のほか、街道索引、政府、社団及其他樓宇索引などの各種索引からも検索できる。

### 2.12.3. 台湾

- **全國電子地圖網**(<http://gis.nat.gov.tw/>)  
行政院研究發展考核委員會が運営する地図サイト。地名、道路名、住所などキーワードからの検索が可能のほか、政府機関、学校、病院などの主題別索引がある。

## 2.13. 電子テキストデータベース

ここでは無料で使用できる全文の検索が可能なテキストデータベースを紹介する。

- **中央研究院 漢籍電子文獻**(<http://www.sinica.edu.tw/~tdbproj/handy1/>)  
台湾の中央研究院が運営するテキストデータベース。二十五史、十三經などの古典文獻、臺灣文獻叢刊などの地方誌文獻、中華民國史事日誌などの近代史史料などが全文検索可能。
- **台灣師大圖書館【寒泉】古典文獻全文檢索資料庫**  
(<http://140.122.127.253/dragon/>)  
台湾師範大学図書館が運営するテキストデータベース。十三經、四庫總目、紅樓夢、資治通鑑などが全文検索可能。
- **全唐詩電子檢索系統**(<http://chinese.pku.edu.cn/tang/>)  
北京大學中文系が運営する漢詩データベース。右段メニューの「專業版」をクリックすると検索画面に入ることができる。全唐詩などの唐代までの詩文集など全文検索ができる。

○ **網路展書讀**(<http://cls.admin.yzu.edu.tw/>)

唐代、宋代の詩、紅樓夢、水滸伝、三国志演義などの文学作品の全文検索が可能。

なお、2.15.1 の項で紹介する「Kanahoo!東洋学サーチ」ではテキストデータ化されている漢籍を四部分類で検索できる。参照されたい。

## 2.14. オンライン中国語辞典

○ **Excite 辞書**([http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese\\_japanese/](http://www.excite.co.jp/dictionary/chinese_japanese/))

三省堂の『デイリーコンサイス中日辞典』(約 40,000 項目)、『デイリーコンサイス日中辞典』(見出し語 30,000、用例 21,000)

○ **ユーザー参加型辞書 北辞郎**(<http://www.ctrans.org/cidic/index.php>)

一般的な単語、ビジネス用語、コンピュータ用語、時事用語、人名やブランド名などの固有名詞などを収録。現在、100,000 余項目を収録。

○ **金山词霸搜索**(<http://push.cb.kingsoft.com/index.htm>)

196 の辞典を横断検索できる。見出し語は英中 4500,000 項目、中英 34000,000 項目、日中 12,000 項目、中日 20,000 項目など。「英汉医学大词典」、「汉英遗传学名词」など英中、中英の専門用語辞典を多く含む。

## 2.15. 学術系ポータルサイト

学術データベース、学術情報資源などを専門的に扱っているポータルサイトを紹介します。

### 2.15.1. 日本

○ **Kanahoo!東洋学サーチ**(<http://www.jaet.gr.jp/kanhoo/>)

漢字文献情報処理研究会が運営する東洋学の学術情報資源に関するポータルサイト。人文科学に関する情報が豊富である。

### 2.15.2. 中国

○ **中国知网 (CNKI)** (<http://www.cnki.net/>)

CNKI(China National Knowledge Infrastructure)の学術資源ポータルサイト。CNKI は、中国の「知的インフラ」整備を目的に清華大学、清華同方を中心に各種データベースの構築を進めているプロジェクトである。2.5.2、2.6.2 の項などで取り上げた学術雑誌や新聞のデータベース以外に図書、会議録、博士修士論文など文献データベースを収録するほか、各機関が作成した各分野のデータベースを公開する。11 月中旬にリニューアルし複数のデータベースの横断検索ができるようになった。

### 2.15.3. 台湾

- **華文知識入口網**(<http://search.ncl.edu.tw/>)  
國家圖書館が運営する學術情報資源ポータルサイト。構成はデータベースの総合窓口とリンク集の2つからなる。前者のデータベースの部分では、上の2.3.4の項で紹介したデータベース以外に各機関の蔵書目録、論文データベース、各分野のデータベースが横断検索できる。

## 2.16. 政府系ポータルサイト

政府が発表する資料、情報等の公的な情報を扱うポータルサイトを紹介する。

### 2.16.1. 中国

- **中華人民共和國中央人民政府门户网站**(<http://www.gov.cn/>)  
國務院弁公庁が運営する国内向けのサイト。國務院、國務院各部門、地方政府が発表する行政文書、法律、統計などを情報のほか、教育、婚姻、医療など生活に関する各種手続きの方法などを掲載する。2005年11月時点では試験運用中。
- **中国网**(<http://www.china.org.cn/>)  
國務院新聞局の指導のもとで運営されている対外向けのニュースサイト。ニュースのほか、中国の政治、制度、文化の概要などを掲載する。日本語版、英語版、フランス語版などが公開されているが、そのなかでは中国語版が一番充実しており、政府機関や社会科学文献出版社で発行されている皮書類(白書類)の全文が公開されている。

### 2.16.2. 香港

- **中華人民共和國香港特別行政區政府**(<http://www.info.gov.hk/>)  
香港政府のサイト。香港の概況、法律、統計などを掲載するほか、各部局のホームページリンクを掲載する。
- **生活易**(<http://www.esd.gov.hk/>)  
香港政府が運用する市民にオンラインで公共サービスを提供するためのサイト。各種手続きや政府各部局で公開する情報を「運動・消聞」「新婚」「家居・飲食」など生活に即した形で分類。

### 2.16.3. 台湾

- **臺灣概覽**(<http://twinfo.ncl.edu.tw/>)  
國家圖書館(台湾)が運営する統計、公報、政府機関ダイレクトリーなど政府が発表する公的な情報を総合的に検索できるサイト。
- **政府網路資源**(<http://gisp.nat.gov.tw/>)  
行政院研究發展考核委員會が運営する政府機関ホームページで公開している各種情報資源へのカテゴリー別リンク集。

## 2.17. ポータルサイト

### 2.17.1. 日本

- 中国情報局(<http://www.searchina.ne.jp/>)  
中国専門の日本語ポータルサイト。ニュース、企業情報、為替情報をはじめ、中国の最新情報を掲載する。

### 2.17.2. 中国

以下は中国の3大ポータルサイトと呼ばれるポータルサイトである。

- 新浪 SINA (<http://www.sina.com/>)
- 網易(<http://www.163.com/>)
- 搜狐 SOHU(<http://www.sohu.com/>)

### 2.17.3. 香港

- Yahoo! Hong Kong -(<http://hk.yahoo.com/>)
- 新浪網 香港(<http://www.sina.com.hk/>)

### 2.17.4. 台湾

- Yahoo! 奇摩(<http://tw.yahoo.com/>)
- 蕃薯藤(<http://www.yam.com/>)
- 新浪網(<http://www.sina.com.tw/>)

## 2.18. サーチエンジン

### 2.18.1. Google

グーグルの中国語版は以下のとおりである。

- Google (简体中文) (<http://www.google.com/intl/zh-CN/>)
- Google 中文 (繁體) (<http://www.google.com/intl/zh-TW/>)
- Google 香港 (<http://www.google.com.hk/>)
- Google 台灣 (<http://www.google.com.tw/>)

日本のグーグルも世界のサイトを検索対象としているので、日本のグーグルでも中国語サイトの検索は可能である。

ただし、日本のグーグルで中国語サイトを検索する場合、初期設定では「**検索の対象にする言語**」が「**すべての言語**」になっているにもかかわらず、対象範囲を「**中国語(簡体)**」もしくは「**中国語(繁体)**」に絞った場合よりヒットする件数が少ない。日本のグーグルで中国語サイトを使用する場合は、「**検索の対象にする言語**」を「**中国語(簡体)**」もしくは「**中国語(繁体)**」に絞ったほうがよい(「**検索オプション**」で設定可能)。

### 2.18.2. 中国

- **Baidu(百度)** (<http://www.baidu.com/>)  
中国で Google に並ぶ人気をもつサーチエンジン。
- **雅虎中国**(<http://www.yahoo.com.cn/>)  
Yahoo!の中国版。以前は日本の Yahoo!のようなポータルサイトだったが、検索エンジンに特化したサイトにリニューアルした。

### 2.18.3. 香港

- **Yahoo! 搜尋**(<http://search.yahoo.com.hk/>)
- **MSN 搜尋**(<http://search.msn.com.hk/>)

### 2.18.4. 台湾

- **Yahoo!奇摩搜尋**(<http://tw.search.yahoo.com/>)
- **MSN 搜尋**(<http://search.msn.com.tw/>)

## 2.19.アジア情報課作成リンク集

- インターネット情報資源:中国  
([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_chn.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_chn.html))
  - インターネット情報資源:香港・マカオ  
([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_hkg.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_hkg.html))
  - インターネット情報資源:台湾  
([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_twn.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_twn.html))
  - インターネット情報資源:中国語圏主題別データベース  
([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_chndb.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_chndb.html))
- 「中国」、「香港・マカオ」、「台湾」は機関ごとに分類。「中国語圏主題別データベース」は中国、香港、マカオ、台湾で作成されたデータベースを主題別に分類している。

## 2.20. 参考ツール

中国関係の情報収集に有用なサイトを紹介した資料を紹介する。

- 『中国情報源』(21 世紀中国総研編、蒼蒼社)  
隔年刊。最新版は「2004-2005 年版」(2004 年 当館請求記号 GE234-H5)。中国研究、中国ビジネス、中国事情に関する情報収集に有用な資料、サイトなどを主題別に紹介するほか、「日本における日中関連機関・団体」、「日本における中国研究者と機関」などを掲載する。
- 『中国ビジネス資料情報ガイド：2003』(ジェトロ・ビジネスライブラリー編、ジェトロ・ビジネスライブラリー、2003 年、当館請求記号 D1-H17)  
ジェトロビジネスライブラリー(東京)が収集・所蔵している中国関連資料と、中国ビジネスに有用なサイトを掲載する。巻末に「中国政府期刊・公機関の WEB サイト」、「在日中国関係機関リスト」を付す。

## 第3章. コリア(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)

### 3.1. はじめに

코리아とはここでは大韓民国(以下韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(以下北朝鮮)の総称として用いている。코리아関連の情報をインターネット上で調べるにあたり、お勧めの無料サイトを紹介します。以下はハングル入力を前提に解説する。

### 3.2. 書誌・所蔵情報

ここでは、国立図書館の蔵書目録を中心に、その他大学図書館のサイトを紹介します。北朝鮮については、発見できていない。

#### 3.2.1. 韓国

##### ○ 국립중앙도서관(国立中央図書館)(<http://www.nl.go.kr/>)

検索は「자료찾기」(資料検索)から。日本語サイトもある。

(<http://www.nl.go.kr/nlja/index.htm>)

書誌はハングルで出る。日本漢字には対応せず。

検索結果:ハングル版では下記のほか記事索引、古書、非図書も見られる。

日本語版では単行本、逐次刊行物、学位论文のみ。

발간자료(刊行物):納本週報(一定期間経過後削除)、「図書館界」「図書館」年報等

원문정보 DB(原文情報 DB): 1945年以前の資料を中心にデータベース化したもの。

植民地期の資料を検索するには便利。

##### ○ 국회도서관(国会図書館)(<http://www.nanet.go.kr/>)

検索は전자도서관(電子図書館)から。英語版もあるが、検索画面はハングルのみ。検索するには利用者登録が必要。

国会会議録にもリンクしている。

국회도서관소개(国会図書館紹介)－발간자료(発刊資料)では、「国会図書館報」、「立法情報」、「国会図書館年間報告書」等を公開している。

##### ○ 국가전자도서관(国家電子図書館)(<http://www.dlibrary.go.kr/NEL/Index.jsp>)

国立中央図書館、国会図書館、法院図書館、韓国科学技術院科学図書館、韓国科学技術情報研究院、韓国教育學術研究院、農村振興庁農業科学図書館の書誌情報を一度に検索。원문목록(原文目録)(全文データのあるもののみ)、전체목록(全体目録)(目録データのあるもの全て)を選択し検索できる。

英語版あり([http://www.dlibrary.go.kr/NEL\\_ENG/Index.jsp](http://www.dlibrary.go.kr/NEL_ENG/Index.jsp))。検索結果はハングルで出る。検索結果から各機関のホームページにも行けるが、簡略な書誌のみ。とりあえず検索するのに便利。

##### ○ 서울대학교 중앙도서관(ソウル大学中央図書館)(<http://library.snu.ac.kr/>)

所蔵検索のほか、所蔵資料の記事索引、法律文献索引、ソウル大学位論文の原文も提供。



### 3.2.2. 日本

- 国立国会図書館アジア言語 OPAC (<http://asiaopac.ndl.go.jp/>)  
朝鮮語資料は、1986 年以降整理した図書及び雑誌・新聞のすべてについて、関西館アジア情報室をはじめ、東京本館、国際子ども図書館の所蔵資料を検索。

### 3.2.3. アメリカ

- HOLIS FULL CATALOG(Harvard University)  
([http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file\\_name=find-b&local\\_base=pub](http://lms01.harvard.edu/F?func=file&file_name=find-b&local_base=pub))  
ハングルの直接入力が可能。  
(欧米の図書館はハングルの翻字形での検索が主。)

## 3.3. 出版情報

代表的な書店を紹介する。

- 교보문고(教保書店) (<http://www.kyobobook.co.kr/main.jsp>)  
図書はもちろん、論文も PDF 形式で発売。書名、著者名、分類等で検索。
- 조선출판물(朝鮮出版物) (<http://www.korea-publ.com/index.php>)  
北朝鮮の出版物の輸出入を担当する機関。北朝鮮で発行された図書、雑誌の検索が可能。

## 3.4. 新聞

以下では新聞記事の検索ができるところを中心に紹介。日本語で読めるところも紹介する。

### 3.4.1. 韓国

- KINDS (<http://www.kinds.or.kr/>)  
韓国言論財団提供。1990 年以降は全国紙、地方紙、インターネット新聞等の記事検索と記事の閲覧が可能。(写真、グラフ等はない。)利用者登録すると記事スクラップや検索条件の保存等も可能になる。  
고신문(古新聞)で、独立新聞と大韓毎日申報が PDF 形式で原文閲覧可。(日付、分類で絞り込む)  
90 년대이전신문(90 年代以前新聞)で、京郷新聞・東亜日報・ソウル新聞・韓国日報が PDF 形式で原文閲覧可。(日付で絞り込む)

日本語サイトを持つ新聞: 東亜日報 (<http://japan.donga.com/>)、朝鮮日報 (<http://japanese.chosun.com/>)、中央日報 (<http://japanese.joins.com/>)

### 3.4.2. 北朝鮮

- 로동신문(労働新聞) (<http://www.kcna.co.jp/today-rodong/rodong.htm>)  
朝鮮通信社サイト(<http://www.kcna.co.jp/>)の朝鮮語版内にある。2002年11月から日付ごとに見出しと主な記事の閲覧が可能。  
日本語サイトを持つ新聞:朝鮮新報(<http://www.korea-np.co.jp/sinboj/>)

### 3.4.3. 日本

- 戦前日本在住朝鮮人関係新聞記事検索  
(<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~mizna/shinbun/>)  
京大水野直樹氏作成。神戸大学の新聞記事文庫。  
(<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>)でも旧外地新聞等の検索が可能。

## 3.5. 雑誌記事・論文検索

雑誌記事索引として使えるサイトを以下に紹介する。

- RISS4U (<http://www.riss4u.net/index.jsp>)  
韓国教育学術情報院(KERIS)が運営。전국대학소장자료(全国大学所蔵資料)で学術誌論文、学位論文、単行本、学術誌(タイトル)が検索できる。修士論文・博士論文、紀要等は会員登録後原文の閲覧が可能。なお일본대학소장자료(日本大学所蔵資料)からNACSIS Webcatも検索できる。日韓 ILL/DDをNIIとKERISで行っている。  
연구지원정보서비스(研究支援情報サービス)からは学会や大学、大学教授、研究室の検索が可能。
- 국립중앙도서관(国立中央図書館)  
学術誌検索。資料検索と同時にできる。
- 국회도서관(国会図書館)  
データベースを選択後、標題、誌名、著者等から検索。利用者登録が必要。
- KSI의 kiss (<http://210.101.116.181/>)  
論文記事検索が可能。原文は有料。最近日本でも販売開始。
- KPJournal (<http://www.kpjournal.com>)  
北朝鮮の学術誌 17 タイトル(1960-)の検索。論題まで。

※アジア情報室ホームページ、テーマ別調べ案内「アジア関係論文の検索(朝鮮語)」もご覧下さい。

### 3.6. 法律

法令、議事録の検索に使えるものを以下に紹介する。

- 대한민국국회(大韓民国国会)(<http://www.assembly.go.kr/index.jsp>)  
法律情報、会議録、予決算情報、議案情報等にリンクしている。
- 종합법령정보센터(綜合法令情報センター) (<http://www.klaw.go.kr/>)  
法制処提供。近代法令(総督府令、軍政法令)、現代法令の検索、閲覧等。
- 종합법률정보(綜合法律情報)  
([http://glaw.scourt.go.kr/glis/legal\\_c/SearchFrame.jsp](http://glaw.scourt.go.kr/glis/legal_c/SearchFrame.jsp))  
大法院よりリンク。判例、法令、文献情報、規則・例規・先例情報検索。
- 헌법재판소(憲法裁判所) (<http://www.ccourt.go.kr/>)  
判例検索等。
- 韓国 Web 六法 (<http://www.geocities.co.jp/WallStreet/9133/>)
- 北朝鮮 Web 六法 (<http://www.geocities.co.jp/WallStreet/9133/>)  
南北朝鮮の法令を和訳している個人サイト。

<その他>

- 国立国会図書館 議会官庁資料室ホームページ  
([http://www.ndl.go.jp/horei\\_jp/index.htm](http://www.ndl.go.jp/horei_jp/index.htm))  
国別に議会、法令、判例、官庁各資料の紹介とリンク集を作成。
- 京都大学大学院法学研究科附属国際法政文献資料センター  
(<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~c53851/frameset-mokuji.htm>)  
インターネットを利用しての法律、政治行政資料の調べ方を掲載。アジアでは韓国のほかにインド、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピンも紹介。

### 3.7. 政府関係資料

白書、統計等は近年各部処のサイトで公開しているものも多い。

- 電子官報 (<http://gwanbo.korea.go.kr/>)  
2000年4月3日以降の官報題目と2000年10月以降の官報全文がPDF形式で閲覧可能。

### 3.8. 人物

朝鮮日報、中央日報等新聞社が人物検索のサイトを持っているが、項目の詳細を見ると有料となるものが多い。ここでは無料で研究者を検索できるものを紹介する。

- 日本における韓国・朝鮮研究データベース研究者ディレクトリ検索  
([http://www.jkcf.or.jp/dirsearch/php/search/usr\\_search.php](http://www.jkcf.or.jp/dirsearch/php/search/usr_search.php))  
日韓文化交流基金作成。研究者名、所属、研究領域等から検索できる。

- KOREANIST (<http://www.koreanists.net/>)  
韓国国際交流財団提供。世界の韓国学研究者が検索できる。(ハングルではなく翻字形で検索する。)

### 3.9. 企業情報

韓国企業について、ダイレクトリ及び企業についての資料が検索できるところを紹介。

- 인터넷 superpage(インターネットスーパーページ) (<http://isuperpage.co.kr/>)  
韓国電話番号簿が運営。地域、業種別に検索が可能。
- 전자공시시스템(電子公示システム) (<http://dart.fss.or.kr/>)  
韓国金融監督院提供。上場法人等の公示書類の検索、閲覧や企業の概要。

### 3.10. 統計

統合検索できる所を紹介する。

- STAT-KOREA (<http://www.stat.go.kr/statcms/main.jsp>)  
統計の統合検索が可能。統計名のほか、作成機関や分類での検索も可。  
当館ホームページのテーマ別調べ案内「統計の調べ方(東アジア)」もご覧下さい。

### 3.11. 地図

地形図等が見られるところを紹介する。

- 국토지리정보원(国土地理情報院) (<http://www.ngi.go.kr/index.jsp>)  
日本語サイトあり(<http://www.ngi.go.kr/japanese/index.jsp>)。地形図や統計地図の閲覧が可能。
- 한국지리정보연구원(韓国地理情報研究院) (<http://geobank.or.kr/>)  
写真検索ができる(分類、ワード)。

### 3.12. 学術データベース

各分野別に、統合的に検索できる所を中心に紹介する。

#### 3.12.1. 全般

- 국가지식정보통합검색시스템(国家知識情報統合検索システム) (<http://www.knowledge.go.kr/index.jsp>)  
韓国情報文化振興院が運営。文化、海洋、歴史、産業、科学、学術、情報通信、建設等についての統合検索システム。ワード、分類等で検索可能。
- 近代朝鮮関係書籍データベース (<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~koreandb/>)  
東京大学東洋文化研究所ホームページ内にある。1868年-1945年間に出版された朝鮮

関係日本語図書(雑誌を含む)に関する書誌・所在情報データベース。『朝鮮研究文献目録 1868-1945』単行書篇(1970年刊)をもとにしている。

### 3.12.2. 歴史

○ 한국역사정보통합시스템(韓国歴史情報統合システム)

(<http://kh2.koreanhistory.or.kr/front/index.jsp>)

韓国歴史分野総合情報センターが運営。慶尚大学文泉閣、国家報勲処、国史編纂委員会、独立記念館、民族文化推進會、民主化運動紀念事業會、ソウル大学奎章閣、成均館大学尊敬閣、戦争記念館、韓国国学振興院、韓国女性開発院、韓国学中央研究院、国家知識情報統合検索を同時に検索。(分類、ワード。リンクしている。) その他、韓国史研究彙報の検索、ユニコード漢字検索システムもある。

○ 국가기록원(国家記録院) (<http://www.archives.go.kr/>)

기록물열람/검색(記録物閲覧/検索)의 일반기록물(一般記録物)から、朝鮮総督府関係文書の検索も可能。

○ 朝鮮史文献目録 (<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~mizna/sengo/>)

朝鮮史研究会運営。『戦後日本における朝鮮史文献目録 1945-1991』(1994年刊)のデータと、『朝鮮史研究会論文集』(第31集～)の巻末文献目録データを元に作成。

○ 朝鮮関係論文データ検索システム (<http://www.han.org/a/lib/#usage>)

神戸むくげの会が運営。韓国朝鮮論文集は、同会が隔月で刊行している『むくげ通信』の「書誌探索」の記載内容に、いくつかの雑誌記事を補充したもの。強制連行資料集の検索も可。

### 3.12.3. 芸術

○ 국가문화유산종합정보서비스(国家文化遺産総合情報サービス)

(<http://www.heritage.go.kr/>)

文化財庁が運営。韓国内博物館所蔵品の統合検索が可能。3D遺物検索では、ワード、時代別、材質別、出土地別に文化財が検索できる。

○ 문화예술종합정보시스템(文化芸術総合情報システム)

(<http://www.culture-arts.go.kr/>)

演劇、音楽、舞踊、建築、映像、美術、文学、祝祭・文化空間、文化政策等の分野についての統合検索。各美術館、国立国楽院、韓国文化芸術振興院等所蔵資料が検索可能。文化芸術関係の用語辞典もある。

### 3.12.4. 語学

○ 朝鮮語学関係文献検索 (<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/choes/>)

東京外国語大学専任講師趙義成氏作成。1945年以降に日本で公開された主要な朝鮮語学関連論文・著書の検索)

### 3.13. オンライン辞書

無料でオンライン検索できる国語辞典の紹介。百科事典は項目を詳細に見るには有料となる所が多い。

- 표준국어대사전(標準国語大辞典)  
([http://www.korean.go.kr/000\\_new/50\\_dic\\_search.htm](http://www.korean.go.kr/000_new/50_dic_search.htm))  
国立国語院が運営。古語も検索可能。
- 연세한국어사전(延世韓国語辞典)(<http://kordic.britannica.co.kr/>)  
延世大学校言語情報開発研究院編『연세 한국어사전(延世韓国語辞典)』の Web 版。

### 3.14. ポータルサイト

主なポータルサイトの紹介。

#### 3.14.1. 韓国

- NAVER(ネイバー)(<http://www.naver.com/>)  
ウェブ情報を始め、辞書、百科事典、ニュース等を一括検索(個別に検索も可)。  
カテゴリー別、辞書、論文や書籍、ブログなど。책정보(本情報)では目次検索ができる。
- DAUM(ダウム)(<http://daum.net/>)  
辞書、ブログ、カテゴリー、サイト、ニュースなどを統合検索できる。

#### 3.14.2. 北朝鮮

- NAENARA(ネナラ) (<http://www.kcckp.net/ja/>)(日本語版)  
政治、貿易、観光、出版、歴史等について分類別に排列している。

### 3.15. 図書館関係団体

コリア関係の団体を紹介する。

- CEAL(<http://www.sois.uwm.edu/jeong/ceal/>)  
Korea section に各種図書館員向けの情報あり。

### 3.16. おわりに

アジア情報課で作成しているリンク集。

- インターネット情報資源: 大韓民国  
([http://ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_kor.html](http://ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_kor.html))  
朝鮮民主主義人民共和国  
([http://ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link\\_prk.html](http://ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/link/east/link_prk.html))  
機関ごとに分類。トッパー関西館アジア情報室ーアジア情報室ホームページーインターネット情報資源。ご活用ください。

● 第3章作成にあたり参考とした資料を刊行年順に紹介。

(日本語)

- 人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系編「日韓近現代歴史資料の共有化へ向けて－アーカイブズ学からの接近－」東京，大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館アーカイブズ研究系，2005.3  
\* 朝鮮総督府関連史料の、日韓での所蔵状況、検索方法等を紹介。シンポジウムの記録集。
- アート・ドキュメンテーション研究会編「国際シンポジウム「東アジアにおける美術・文化財情報のネットワーク化を考える」報告書」宇治，アート・ドキュメンテーション研究会，2005.1  
\* 日中韓の博物館関係者による発表とパネルディスカッションが行われたシンポジウムの記録集。
- 指宿信，米丸恒治編「インターネット法情報ガイド」東京，日本評論社，2004.10  
\* 韓国と北朝鮮の統治構造、インターネットを使つての法情報・法調査の解説等。
- 北村一郎編「アクセスガイド外国法」東京，東京大学出版会，2004.6  
\* pp.329-368 高翔龍著「韓国法」韓国における法制度の概観、法関係資料の紹介等。
- 李仙「所蔵資料の原文データベース構築及び他機関との相互利用について」2003.6.19  
\* 国立中央図書館の原文DB及び国家電子図書館等の概要について、当館ホームページ(トップ)－国立国会図書館について－国際協力活動－各国図書館との交流－韓国国立中央図書館との業務交流－概要(第7回)より閲覧可。

(英語)

- Kyungmi Chun「Commercial Resources」, Sun-Yoon Lee 「Free Resources」, Joy Kim 「Free Resources II」2005.3.31－4.3  
\* AAS Annual Meeting「Electronic resources and Korean Studies」のパワーポイント資料。CEALのホームページより得られる。韓国の有料データベースと無料データベースを紹介。
- Hee-Sook Shin「Korean internet resources for basic reference and cataloging」『Journal of East Asian libraries』No.133 2004.6  
\* 分野別にサイトを紹介。網羅的で有用。

(朝鮮語)

- 이상렬, 신인수『인물정보검색』 『기업정보검색』 『역사정보』 「디지털도서관」2004년 여름호, 2004년 겨울호, 2005년 여름호  
\* 人物情報、企業情報、歴史情報それぞれについてインターネットで調べるにあたり、代表的なサイトの紹介とその解説を掲載する。
- KDI 경제정보센터(KDI 經濟情報センター)[編]「경제분야 주요 웹사이트(經濟分野主要ウェブサイト)」서울, 한국개발연구원, 2003.11  
\* 經濟關係政府機關、研究機關、学会等の紹介。
- 박준식(朴俊植)「참고정보원(参考情報源)」대구, 태일사, 2003.3  
\* 書誌、索引等の紹介が充実している。
- 최은주(崔銀珠)「디지털도서관과 사회과학정보원(デジタル図書館と社会科学情報源)」서울, 한국도서관협회, 2000.8  
\* 関連學術団体の紹介が充実している。